

## 引用文献目録

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
シリーズタイトル	その他
雑誌名	満鉄調査部：関係者の証言
ページ	657-714
発行年	1996
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00011086">http://hdl.handle.net/2344/00011086</a>

引用文献目録  
満鉄調査関係者人名録  
人名索引

## 引用文献目録

1. この目録は、本書に収録した報告および質疑応答において引用・言及されている論文・単行書・逐次刊行物の一覧である。
2. 論文・単行書の部と逐次刊行物の部の二部に分けた。
3. 排列は、著者名のアルファベット順である。
4. 中国語文献については、当用漢字を使用し、漢字の日本語音読みのアルファベット順に排列した。
5. 記述の順序は、原則として、著者名、刊行年、書名・論文名、出版社・掲載誌名、叢書名、注記である。
6. 出版地は東京の場合および満鉄刊行物については省略した。

### 論文・単行書の部

#### A

安倍能成

- 1934 「石川君のこと」(「石川鉄雄君の面影」[1934].

Ahnert, E. E. von

- 1929 「北満鉱産誌」(地質調査所『地質専報』甲種第7号 1929年12月). 別書名: *Mineral Resources of Northern Manchuria*. ロシア語からの訳. 中文は英語からの訳.

- 1939 「地質並に鉱物資源」(南満洲鉄道株式会社北満経済調査所『極東ソ聯要覧』[北経調査刊行書第45号]).

相川春喜

- 1939 『歴史科学の方法論』白揚社.

愛甲勝矢

- 1938 「満洲農家経済収支に現れたる小作の諸問題」上-完(『満鉄調査月報』第18巻第8, 11号 1938年8, 11月).

- 1981 「満洲農村実態調査の原点と展望」農林経済学会 1981年総会要旨.

網治隆夫

- 1941 「配給機構に於ける満商の特質—奉天市に於ける商業実態調査の結果より見て—」(1) - (2) (『満洲評論』第20巻第24-25号 1941年6月14, 21日).

アジア経済研究所

- 1971a 「『中国統一化』論争の研究(昭和45年度中間報告)」(所内資料 調査企画室 No. 46-5).

- 1971b 「『中国統一化』論争資料集」(所内資料 調査企画室 No. 45-4).

アジア経済研究所図書資料部編

- 1979 『旧植民地関係機関刊行物総合目録—南満洲鉄道株式会社編—』.

『アジア問題講座』

- 1939-40 『アジア問題講座』全12冊 創元社.

Академия наук СССР. Институт Дальнего Востока

- 1986 *Коммунистический Интернационал и Китайская Революция. Документы и материалы.*

天海謙三郎

1942 「満洲土地制度の理解に関する一關鍵」(『資料彙報』第1号 1942年3月). 南満洲鉄道株式会社調査部 [1943] および天海 [1966] に収録.

1966 『中国土地文書の研究』勁草書房.

天野元之助

1932a 「懷徳県大泉眼農家経済調査中間報告書」.

1932b 「満洲に於ける小作様式と其の性質」(『満鉄調査月報』第12巻第11号 1932年11月).

1933a 「満洲経済の機構」(南満洲鉄道株式会社経済調査会編 [1933] 第1部第2章).

1933b 「満洲農村の貸借制度」(『満鉄調査月報』第13巻第1号 1933年1月).

1934 「満洲農業近代化の過程」(南満洲鉄道株式会社経済調査会編 [1934] 第1部第2章).

1940-42 『支那農業経済論』上・中 全2冊 改造社. 天野元之助『中国農業経済論』全2巻 不二出版 1984年として覆刻.

1942a 「吉林省懷徳県大泉眼農村調査報告」(天野 [1942b] 所収).

1942b 『支那農村襟記』生活社.

1982 「南山書屋雑筆——満鉄時代の中国農村調査随想——」I-II (『季刊人類学』第13巻第1-2号 1982年3, 6月).

『アメリカ合衆国戦略爆撃調査団・石油・化学部報告』

1986 『アメリカ合衆国戦略爆撃調査団・石油・化学部報告 日本における戦争と石油』石油評論社. 原書名: United States. Strategic Bombing Survey. Oil and Chemical Division, *Oil in Japan's War*. 1946.

安斎庫治

1937a 「復興途上の内蒙古」(『支那問題研究所所報』第11号 1937年11月).

1937b 「内蒙社会経済の特質とその発展への道」(『支那問題研究所所報』第11号 1937年11月).

1939 「包頭に於ける黒皮房」(1) - (2) (『満鉄調査月報』第19巻第10-11号 1939年10-11月).

有賀宗吉

1988 『十河信二』全2冊 十河信二傳刊行会.

浅田喬二

1968 『日本帝国主義と旧植民地地主制——台湾・朝鮮・満洲における日本人大土地所有の史的分析——』御茶の水書房 1968年. 農業総合研究所『旧植民地日本人大土地所有論』浅田喬二著 1968年(研究叢書 第82号)と同一内容.

1982 「『満洲経済論争』をめぐる諸問題」(『駒沢大学経済学論集』第14巻第1号 1982年6月). 浅田喬二『日本知識人の植民地認識』校倉書房 1985年に収録.

『朝日新聞』

1982a 「名誉市民 薄い膜で農業革命——日中の十字路 旧満洲はいま(28)——」(『朝日新聞』1982年10月1日).

1982b 「凍土の早苗 米作り翁技術伝授——日中の十字路 旧満洲はいま(27)——」(『朝日新聞』1982年9月30日).

浅野五郎

1938 「熱河省七家子産バナジン金紅石含有磁鉄鉱の研究」(『地質調査所報告』第94号 1938年10月).

遊部久蔵

1942 「支那近代工業構成——支那工業基本統計の一整序——」(『東亜研究所所報』第17号 1942年8月).

## B

龍宮谷清松

1986 「財閥と大陸進出」私家版.

防衛庁防衛研修所戦史室

1969 「関東軍&lt;1&gt;—対ソ戦備・ノモンハン事件—」朝雲新聞社（戦史叢書）.

1975 「支那事变陸軍作戦&lt;3&gt;—昭和十六年十二月まで—」朝雲新聞社（戦史叢書）.

Buck, John Lossing

1930 *Chinese Farm Economy*. Chicago: University of Chicago Press.

1935-36 「支那農家経済研究」全2巻 豊島秀夫訳 東亜経済調査局 1935-36年（経済資料第193, 197）. Buck [1930] の訳.

1937 *Land Utilization in China; a Study of 16, 786 Farms* … 南京: University of Nanking.

1938a 「支那農業に於ける土地の利用」(1) - (2) (『満鉄調査月報』第18巻第4-5号 1938年4-5月). Buck [1937] の訳.

1938b 「支那農業論」全2巻 三輪孝・加藤健訳 生活社. Buck [1937] の訳.

1938c 「支那の農業」塩谷安夫・仙波泰夫・安藤次郎訳 改造社. Buck [1937] の訳.

「撫順炭礦の工業」

1964 「撫順炭礦の工業」(満史会編 [1964] 下 第5章「鉱業篇」所収).

「部内資料取扱打合会議事報告」

1940 「部内資料取扱打合会議事報告」(『満鉄資料彙報』第5巻第9号 1940年9月).

## C

「治外法権撤廃と中国法制」(座談会)

1943 「治外法権撤廃と中国法制」(座談会) (1) - (7) (真鍋 [1981] 所収. 原載は『大陸新報』1943年3月).

千原暦次

1937 「満洲に於ける聯號の研究」(『満鉄調査月報』第17巻第2号 1937年2月).

千種達夫編著

1964-67 「満洲家族制度の慣習」全3巻 一粒社. 第3巻は満洲国國務院司法部 [1944] を加筆したもの.

陳独秀

1929a 「陳独秀的封信」第一 1929年8月5日.

1929b 「対中東鉄路問題的意見」1929年7月18日.

陳独秀, 等

1929 「我們的政治意見書」1929年12月15日.

陳翰笙

1930 「封建社会的農村生産關係」上海 国立中央研究院社会科学研究所.

1931 「封建社会の農村生産關係」大形孝平訳 (『満鉄支那月誌』第8年第2号 1931年2月). 陳翰笙 [1930] の訳.

陳翰笙, 等

1929 「畝の差異 (無錫二十二村稻田の一七三種大小不同的畝)」上海 商務印書館.

1930 「難民的東北流亡」上海 国立中央研究院社会科学研究所.

- 1934 『広東農村生産関係与生産力』上海 中山文化教育館。
- 陳翰笙・王寅生
- 1930 「黒龍江地域の農民与地主——文献紹介——」宮本通治訳（『満鉄支那月誌』第7年第1号 1930年1月）。『黒龍江流域の農民与地主』1930年の紹介。
- 1931 「支那の社会の構造に関する研究活動」（『満鉄支那月誌』第8年第4号 1931年4月）。
- 陳賡雅
- 1934 「中国赤色区視察記」日森虎雄訳 1934年 私家版。
- China. The Maritime Customs.
- 1913 *Decennial Reports on the Trade, Industries, etc., of the Ports open to Foreign Commerce, and on the Condition and Development of the Treaty Port Provinces, 1902-11.* Published by Order of the Inspector General of Customs.
- 千代由利
- 1984 「国立国会図書館の満鉄資料——LC所蔵満鉄資料の収集プロジェクトを終えて——」（『びぶろす』第35巻第6号 1984年6月）。
- 張錫昌
- 1934 「河南農村経済調査」（『中国農村』第1巻第2期 1934年11月）。
- 長 守善
- 1938 『ナチス——ヒットラー運動、思想、政策——』日本評論社。
- 「調査部組織定員および実在員暦年比較表」
- 1982 「調査部組織定員および実在員暦年比較表」（野間、他編 [1982] 所収）。
- 「調査事業の沿革」
- 1952 「調査事業の沿革」（中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収）。
- 「調査項目 その一（東京側）」
- [1939?] 「調査項目 その一（東京側）」（中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収）。
- 「調査項目 その二（満鉄側）」
- [1940?] 「調査項目 その二（満鉄側）」（中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収）。
- 「中国慣行調査に関する満鉄調査部の計画」
- 1958 「中国慣行調査に関する満鉄調査部の計画——東亜研究所の調査計画との関連において——」（中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第6巻所収）。
- 「中国旧慣の調査について」
- 1958 「中国旧慣の調査について——天海謙三郎氏をめぐる座談会——」（『東洋文化』第25号 1958年3月）。天海 [1966] に収録。
- 中国農村慣行調査刊行会編
- 1952-58 『中国農村慣行調査』全6巻 岩波書店。
- 1981 『中国農村慣行調査』第2版 全6巻 岩波書店。
- 「中国農村慣行調査についての座談会」
- 1958 「中国農村慣行調査についての座談会」第1回-第6回（中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第6巻所収）。
- 「中国社会性質問題論戦著作索引」
- 1984 「中国社会性質問題論戦著作索引」（高軍編 [1984] 所収）。
- 「中国社会性質問題論戦論文索引」
- 1984 「中国社会性質問題論戦論文索引」（高軍編 [1984] 所収）。

中華民国行政院農村復興委員会編

- 1934a 『河南省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。
- 1934b 『江蘇省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。
- 1934c 『浙江省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。
- 1934d 『陝西省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。
- 1935a 『広西省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。
- 1935b 『雲南省農村調査』上海 商務印書館 (行政院農村復興委員会叢書)。

中華民国法制研究会

- 1931 『中華民国法 総則』村上貞吉・我妻栄・広瀬武文執筆 中央大学。
- 『中華民国法制年鑑』
- 1944 『中華民国法制年鑑』民国三十一年版 大同印書館。

中華民国新民会中央総会臨時調査班

- 1941 『共產地区調査報告』。出版地の記入なし。

Cordier, Henri

- 1904-08 *Bibliotheca sinica : Dictionnaire bibliographique des ouvrages relatifs a l'empire chinois, Rev. and enlarged ed.* Paris : E. Guilmoto, P. Geuthner.

D

「第六調査委員会内外地委員打合会記録原稿」

- [1939?] 「第六調査委員会内外地委員打合会記録原稿」[1939年11月?]. ペン書き。執筆年月の記入なし。

「第六調査委員会設立経過」

- 1939 「第六調査委員会設立経過」(「東亜研究所業務報告」[『東亜研究所所報』第4号 1939年11月])。

「第六(慣行)調査委員会案」

- 1939 「第六(慣行)調査委員会案」1939年7月28日。東亜研究所第三部作成か。

「大東亜調査機構整備試案」

- 1942 「大東亜調査機構整備試案」1942年6月。起案個所の記入なし。山崎元幹が表紙に「企画院ニ提出」と記入。

「第四回支那駐屯軍滿鉄經濟調査委員会懇談会」

- 1937 「第四回支那駐屯軍滿鉄經濟調査委員会懇談会」。発行者の記入なし。

E

枝吉勇

- 1981 「調査屋流転」私家版。

江夏美千穂

- 1986 「『満洲』における企業形態『合夥』——『満洲土着資本実態調査報告書』——」(『アジア経済』第27巻第3号 1986年3月)。本書収録。

延安農村調査団

- 1957 『米脂県楊家溝調査』北京 生活・読書・新知三聯書店。

遠藤隆次

- 1939 『満洲の地質及び鉱産』改訂増補 三省堂。初版は1934年刊。  
1941 「満洲国内に於いて最近化石を利用し鉱床を発見した二、三の実例に就て」(『矢部教授  
還暦記念祝賀講演録』所収)。  
1965 『原人発掘——古生物学者の満洲二十五年——』春秋社。

衛藤藩吉

- 1975 「肥後の豪傑奇人『日森虎雄』」(熊日論壇)(『熊本日日新聞』1975年11月3日)。

## F

福重美義

- 1943 「労働調査報告(農村駐在調査報告 二)」(『満鉄調査月報』第23巻第12号 1943年12月)。

福島正夫

- 1957 「中国農村慣行調査と法社会学——とくに末弘博士の法社会学理論を中心として——」中  
国農村慣行研究会プリント。『福島正夫著作集』第6巻 勁草書房 1995年に収録。  
1958 「岡松参太郎博士の台湾旧慣調査と、華北農村慣行調査における末弘厳太郎博士」(『東  
洋文化』第25号 1958年3月)。『福島正夫著作集』第6巻 勁草書房 1995年に収録。

福留邦雄

- 1940 「事变下の北支農村と対策の動向」(南満洲鉄道株式会社調査部[1940c]第1部第2章第1節)。  
「船越寿雄に対する意見書及判決文」

- 1944 「船越寿雄に対する意見書及判決文」(『ゾルゲ事件(三)』みすず書房 1962年[現代史資  
料 3]所収)。

古島敏雄

- 1953 「中国農村慣行調査第一巻を読んで」(『歴史学研究』第166号 1953年11月)。中国農村  
慣行調査刊行会編[1952-58]第4巻所収。

## G

外務省調査部

- 1938 『全「ソ」聯邦共産党史』全2冊。

Gamble, Sidney David

- 1933 *How Chinese Families Live in Peiping; a Study of the Income and Expenditure of...* New  
York: Funk & Wagnalls Co. 邦訳は『北京の支那家族生活』福武直訳 生活社 1940年。

嚴靈鋒

- 1931 『中国経済問題研究』上海 新生命書局。

「技術の開発によせて」

- 1971 「技術の開発によせて——佐藤正典氏に聞く——」(佐藤正典[1971]所収)。

呉明

- 1939 「中国社会史論戦底検討」(『中山文化教育館季刊』第2巻第1期 1939年春季)。  
1942 「中国社会史論戦底検討」小島共于訳 (南満洲鉄道株式会社上海事務所[1942a]所収)。

呉振輝

- 1938 「労力・畜力を中心とせる北満の農業経営について——克山県の満人部落調査——」(『満  
鉄調査月報』第18巻第3号 1938年3月)。



五味川純平

1974 『自由との契約』全3冊 三一書房 1974年、初版は全6冊 1955-60年刊行。

後藤新平

1906 「満鉄総裁就職情由書」明治39（1906）年（南満洲鉄道株式会社[1919]所収）。

「軍用貨物」

1942 「軍用貨物」（南満洲鉄道株式会社鉄道総局『規定類纂』第2編鉄道 第3類営業（貨物）第2章貨物運送 第2節）。

具島兼三郎

1939 「物資戦略と外交政策——特に我国を中心として——」（『満鉄調査月報』第19巻第10号 1939年10月）。

1940 「『物資戦略と外交政策』補遺」（『満鉄調査月報』第20巻第1号 1940年1月）。

1980 『どん底のたたかい——わたしの満鉄時代——』福岡 九州大学出版会。

1981 『奔流——わたしの歩いた道——』福岡 九州大学出版会。

## H

潘東周

1930 「中国経済的性質」（『新思潮』第5期 1930年4月）。

英 修道

1939 『中華民国に於ける列国の条約權益』丸善。

花野吉平

1979 『歴史の証言——満州に生きて——』龍溪書舎。

「犯罪発覚の原因，端緒」

1944 「犯罪発覚の原因，端緒」（関東憲兵隊司令部編[1944]第2編第1章）。

原 朗

1972 「一九三〇年代の満州経済統制政策」（満州史研究会編『日本帝国主義下の満州——「満州国」成立後の経済研究——』御茶の水書房所収）。

原 朗・中村隆英

1970 「解題」（日本近代史料研究会[1970]第1巻）。

原 覺天

1940a 「奉天古典史料考」（『満鉄資料彙報』第5巻第1号 1940年1月）。

1940b 「清朝史学の性格」（『満鉄資料彙報』第5巻第11号 1940年11月）。

1984 『現代アジア研究成立史論』勁草書房。

1986 『満鉄調査部とアジア』世界書院。

原田勝正

1981 『満鉄』岩波書店（岩波新書 178）。

原口九萬

1954 「満洲に於ける油頁岩鉱床」第1-2報（『地学雑誌』第63巻第1，4号 1954年1，4月）。

旗田 魏

1981 「再刊にあたって」（中国農村慣行調査刊行会編[1981]第1巻所収）。

服部之総

1954 「マニファクチュア論争についての所感」（『服部之総著作集』第1巻 理論社所収）。

費孝通

1939a *Peasant Life in China ; a Field Study on Country Life* … London : G. Routledge and Sons.

1939b 『支那の農民生活』仙波泰雄・塩谷安夫訳 生活社。費 [1939a] の訳。

土方成美

1937a 『ファシズム—思想、運動、政策—』岩波書店。

1937b 『日本経済政策』千倉書房。

1938 『日本経済学への道』日本評論社。

日森虎雄

1936 「抗日人民戦線の現動向」(『中央公論』第51年12月号 1936年12月)。

1939 「中国遊撃運動現勢」上海 日森研究所。

1941 『現代支那の政党』生活社(東亜叢書)。

1942 『中共二十年史—自一九二〇年至一九四〇年—』上海 日森研究所。

「日森虎雄の略歴」

1987 「日森虎雄の略歴」(宮西 [1987 (II)] 所収<本書収録>)。

ヒオーニン, ア・ペ

1936 「外蒙の商事機関」(『満鉄調査月報』第16巻第10号 1936年10月)。

平館利雄

1976 「私のソ連研究史の一齣」(『専修大学社会科学研究所月報』No. 150 1976年3月)。

平野健一郎

1972 「『新天地』—1931(昭和6)年9月まで—」(『中国雑誌解題特集』[『アジア経済資料月報』1972年臨時増刊 1972年3月])。

平野 蕃

1941a 『満洲の農業経営』南満洲鉄道株式会社総裁室弘報課編 中央公論社(東亜新書 10)。

1941b 「農村階級構成の変遷に関する一試論—大家族の解体過程との関連に於ける—」(『興農』第2巻第1号 1941年1月)。

1985 「満鉄の中国東北における農村・農業調査」(『アジア経済』第26巻第6号 1985年6月)。本書収録。

平野義太郎

1934a 『日本資本主義社会の機構—史的過程よりの究明—』岩波書店。

1934b 「農家の副業・家内工業」(『経済評論』第1巻第2号 1934年10月)。

1935a 「近代的土地所有形態成立の条件—土地所有形態より見た農業におけるブルジョア的変革の二類型の対比—」(『経済評論』第2巻第9号 1935年9月)。

1935b 「東北地方の凶作」(『経済評論』第2巻第2号 1935年2月)。

1936 「過小農民による地代—飢餓的生活のための零細小作および地代の性質・形態—」(『経済評論』第3巻第5号 1936年5月)。

1941 「北中支における農村聚落の鳥瞰」(『東亜研究所所報』第10号 1941年10月)。

1943 『民族政治学の理論』日本評論社。

1945 『大アジア主義の歴史的基礎』河出書房。

廣田鋼蔵

1990 『満鉄の終焉とその後—ある中央試験所員の報告—』青玄社。

方顯廷

1941 『支那の民族産業』平野義太郎編 岩波書店(東亜研究叢書 第3巻)。

発智善次郎

- 1935 「支那綿紡織業の現段階——日本対支資本輸出の現状及び将来性の紡織部門に於ける具体的検討——」(『満鉄調査月報』第15巻第12号 1935年12月)。  
 1937 「支那経済研究の出発点——有沢広巳編『支那工業論』を読む——」(『満鉄調査月報』第17巻第4号 1937年4月)。

『彷徨月刊』

- 1988 「特集 満鉄図書館」(『彷徨月刊』第4巻第6号 1988年6月)。

細川嘉六

- 1941 『植民史』東洋経済新報社(現代日本文明史 第10巻)。

Huang, Philip C. C.

- 1985 *The Peasant Economy and Social Change in North China*. Stanford: Stanford University Press.

フーラー, クラップ

- 1938 「東支那ニ於ケル石油調査」大村一蔵訳(『石油時報』第711号 1938年4月)。

## I

市川正義

- 1934 「南部呼倫貝爾に於ける経済事情の考察」(『満鉄調査月報』第14巻第5号 1934年5月)。  
 1935 「南部呼倫貝爾調査報告書」上・下(『満洲一般資源調査報告』[南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935-36c] 第4編第1巻続4] 所収)。

一処員

- 1917 「田賦」上・下篇(『支那研究資料』第1巻第2, 4号 1917年5, 7月)。

飯島 馨

- 1937 「満洲油房及粮棧の現勢」(満洲中央銀行調査課『調査彙報』第2輯 1937年10月)。

飯島 孝

- 1981 『日本の化学技術』工業調査会。

今堀誠二

- 1968 『中国近代史研究序説』勁草書房。

今井清一

- 1977 「解題」(『尾崎秀実著作集』第1巻 勁草書房所収)。  
 1987 「太平洋戦争前後の尾崎秀実の政治情勢報告」(『思想の科学』第7次第90号 1987年6月)。

今井清一編

- 1987 「『東京時事資料月報』所載尾崎秀実政治情勢報告」(『思想の科学』第7次第90号 1987年6月)。

今井東吾

- 1941 「営口開港前後」(『満鉄資料彙報』第6巻第7号 1941年7月)。

井村哲郎

- 1977 「『北支経済調査班報告書』目録」(『アジア経済資料月報』第19巻第10号 1977年10月)。  
 1980-81 「GHQによる日本の接收資料とその後」[1]-2(『図書館雑誌』第74巻第8号, 第75巻第8号 1980年8月, 1981年8月)。同編『米国議会図書館所蔵 戦前期アジア関係日本語逐次刊行物目録』アジア経済研究所 1995年所収。  
 1987 「東亜研究所『支那慣行調査』関係文書——解題と目録——」(『アジア経済資料月報』第29巻第1, 4号 1987年1, 4月掲載の同名の解題と目録を補筆改稿したもの)。

猪股津南雄

- 1937 「隣邦支那の前途」(『改造』支那事変増刊号 第19巻第11号 1937年10月)。『猪股津南雄研究』第5号 1971年6月に収録。

井上一葉

- 1917 「支那政党史」(『支那研究資料』第1巻第2号 1917年5月)。

石田文次郎

- 1932 『土地総有権史論』岩波書店。

石田委員

- [n.d.a] 「農家経済の観点より見たる北支農村に於ける経済諸慣行」。刊年記入なし。

- [n.d.b] 「支那土地慣行調査ニ関スル根本資料」(京大資料)。刊年記入なし。

石田喜與司

- 1938 「蒙古人民共和国の現勢」(『満鉄調査月報』第18巻第11号 1938年11月)。

石田精一

- 1939 「北満農村の動態的考察——呼蘭県第二区孟家屯の例——」(『満鉄調査月報』第19巻第10号 1939年10月)。

- 1941a 「北満に於ける雇農の性質」(『満鉄調査月報』第21巻第3号 1941年3月)。

- 1941b 「北満に於ける雇農の性質」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1941d] 所収)。

- 1941c 「南満に於ける大農経営」(『満鉄調査月報』第21巻第10号 1941年10月)。

- 1941d 「南満の村落構成——特に旧官荘所在地を中心として——」(『満鉄調査月報』第21巻第9号 1941年9月)。

- 1985 「北『満洲』農村における雇農の性質」(『アジア経済』第26巻第7号 1985年7月)。本書収録。

石堂清倫

- 1943a 「資料室の一つの型——図書館研究会への一報告——」(『満鉄大連図書館報 書香』第142号 1943年1月)。

- 1943b 「資料的業務の一つの例——ハンブルグ世界経済アルヒーフ——」(『資料彙報』第8号 1943年1月)。

- 1971 「解説 ソルゲについて」(『ソルゲ事件(四)』みすず書房 [現代史資料(4)] 所収)。

- 1978 「満鉄調査部と『マルクス主義』」(運動史研究会編『運動史研究』2 三一書房 1978年所収)。[石堂 1986a] に収録。

- 1985 「ソルゲの秘密報告」(『みすず』第27巻第3号 1985年3月)。

- 1986a 『異端の視点——変革と人間と——』勁草書房。

- 1986b 『わが異端の昭和史』勁草書房。

- 1987 「満鉄調査部は何であったか」(I) - (II) (『アジア経済』第28巻第5-6号 1987年5-6月)。本書収録。

- 1988 「満鉄の図書館」(『叻書月刊』[1988] 所収)。

- 1989a 「調査部資料室と大連図書館」(『アジア経済』第30巻第2号 1989年2月)。本書収録。

- 1989b 「満鉄調査部は何であったか(補遺)」(『アジア経済』第30巻第5号 1989年5月)。本書収録。

石堂清倫, 他

- 1986 『十五年戦争と満鉄調査部』石堂清倫・野間清・野々村一雄・小林庄一著 原書房。

石浜知行

- 1942 『重慶戦時体制論』中央公論社。

- 1944 『清郷地区』中央公論社.
- 石原莞爾
- 1932 「板垣少将へ（七年八月十二日）」（角田順編 [1971] 所収）.
- 1935 「為花谷君（昭和十年八月）」（角田順編 [1971] 所収）.
- [194-] 「日滿財政経済調査会」年記入なし（『日中戦争（一）』みすず書房 1964年[現代史資料（8）] 所収）。石原が極東軍事裁判に提出した資料とされる。
- 石井俊之
- 1940 「北支に於ける自作農——北支農村階級構成に関する一試論——」（『満鉄調査月報』第20巻第12号 1940年12月）.
- 1983 「私の回顧録」金沢 石川県時事と教育研究会.
- 石川哲夫（鈴木小兵衛）
- 1940a 「満洲農業に於ける大経営の意義と其の問題——満洲の農業問題に関するメモ（其の二）——」（『満洲評論』第18巻第16号 1940年4月20日）.
- 1940b 「満洲の農業問題に関するメモ（其の一）」（『満洲評論』第18巻第14号 1940年4月6日）.
- 石川鉄雄
- 1925 『音楽行脚』日本評論社.
- 「石川鉄雄君の面影」
- 1934 「石川鉄雄君の面影」（『新天地』第14年第9号 1934年9月）。各執筆者と表題は安斎宏素「金沢の頃」、中田信蔵「胸奥の情熱」、野田豊「鎌倉と小平島」、松本烝治「心から許した友」、安倍能成「石川君のこと」、田中耕太郎「彼れと私」、山崎元幹「交渉部時代の石川君」、大蔵公望「清く正しき存在」、田所耕耘「病める蛟龍」、入江正太郎「隠れた彼の功績」、金井清「思出の中から」、四高同窓会「石川先生を慕ふ」、伊藤武雄「『満鉄調査』に系統を与へしもの」、保々隆矣「思ひ出るまゝに」.
- 石崎重郎
- 1979 『石油日記——戦中・戦後——』日本経済新聞社.
- 磯村幸男
- 1938 「対支工作機関として東亜課は何をしたか——使命を果し解消——」（『協和』第230号 1938年12月1日）.
- 1988 「満鉄の情報・弘報活動」（『アジア経済』第29巻第4号 1988年4月）。本書収録.
- 板倉真五
- 1932 『満洲土地法論 第1巻 緒論・総論』大連 大阪屋号書店.
- 1936-37 「満洲土地法論拾遺」（1）-（8）（『地友会雑誌』第1巻第3号-第2巻第6号 1936年12月-37年12月）.
- 伊藤源蔵
- 1980 「上海勤務の回顧」（上海満鉄回想録編集委員会 [1980] 所収）.
- 伊藤英男
- 1974 「刈谷久太郎書簡集」私家版.
- 伊藤 律
- 1939 「戦時下ニ於ケル農業生産資材問題」（『東京時事資料月報』第2号 1939年9月）.
- 1940 「米穀政策ノ強化ニ就テ——本米穀年度ヲ中心トシタル——」（『東京時事資料月報』第17号 1940年12月）.
- 1941a 「経済革新諸法案撤回後ニ於ケル経済体制革新問題」（『東京時事資料月報』第19号 1941年2月）.

- 1941b 「日本に於ける農家経済の最近の動向」(1) - (2) (『満鉄調査月報』第21巻第8-9号 1941年8-9月)。
- 伊藤武雄
- 1922 「軍事」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第2巻所収)。
- 1929 「支那研究を科学的綜合へ——『満鉄支那月誌』改刊に際して——」(『満鉄支那月誌』第6年第2号 1929年11月)。
- 1940 「序」(南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940i] 所収)。
- 1964 『満鉄に生きて』勁草書房(中国新書 7)。
- 1970 「中江丑吉の人と書簡」(阪谷・鈴木編 [1970] 所収)。
- 1982 「陶然亭逸事——中共前史の一挿話——」(『日中経済協会報』第104号 1982年3月)。
- 1988a 「調査課時代——大正期——」(『アジア経済』第29巻第6号 1988年6月)。本書収録。
- 1988b 「満鉄の初期調査活動——石川鉄雄と野中時雄——」(『アジア経済』第29巻第3号 1988年3月)。本書収録。
- 伊藤武雄・岡崎嘉平太・松本重治
- 1983 『われらの生涯のなかの中国——六十年の回顧——』阪谷芳直・戴国焯編 みすず書房。
- 伊藤武雄, 他
- 1990 「満鉄調査関係者の見た調査活動(座談会)」(『アジア経済』第31巻第2号 1990年2月)。本書収録。
- 岩井英一
- 1983 「回想の上海」名古屋 回想の上海出版委員会。
- 「所謂一・二八工作事件の概要及本事件との関連」
- 1944 「所謂一・二八工作事件の概要及本事件との関連」(関東憲兵隊司令部編 [1944] 第1編第9章)。
- 伊沢道雄
- 1937-38 『開拓鉄道論』全3冊 春秋社(鉄道交通全書)。

## J

### 「事変前に於ける無錫工業の地位」

- 1940 「事変前に於ける無錫工業の地位」(南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室編 [1940a] 第1編第1章)。

### 神保小虎

- 1897 「遼東半島占領地の地層並火成岩の類別」(『地学雑誌』第9輯第103巻 1897年7月)。
- 1898 「遼東の地勢地形に関する所見」(『地学雑誌』第10輯第113巻 1898年5月)。

### 「序」

- 1952 「序」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収)。

## K

### 華北交通社史編集委員会

- 1984 『華北交通株式会社社史』華交互助会。

### 河北省県政建設研究院

- 1934 『定県経済調査一部份報告書』。

## 「解説」

1970 「解説」（『満鉄調査部 支那抗戦力調査報告』[1970] 所収）。

嘉治隆一

1947 「数奇伝」（『朝日評論』第2巻9号 1947年9月）。

郭衛原

1942 『支那現行法律体系』真鍋藤治・郡司弘訳注 大同印書館。

郭沫若

1929 『中国古代社会研究』上海 中亜書局。

上村哲弥

1922a 「教育」（南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収）。

1922b 「満蒙之宗教」（南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収）。

加納三郎（平井孝雄）

1937 「社会相——一九三七年満洲の回顧——」（『新天地』第17年第12号 1937年12月）。

1938 「映画雑記」（『新天地』第18年第10号 1938年10月）。

1939 「東亜思想の諸条件」（『新天地』第19年第4号 1939年4月）。

1941a 「満洲文化のために」（『満洲評論』第21巻第5号 1941年8月2日）。

1941b 「島の三日間——廣鹿島紀行——」（『新天地』第21年第9号 1941年9月）。

関東軍参謀部

1940 「北満湿地調査の成果に基く湿地及地質分布一覧図」（湿地調査参考書 第1号）。

関東軍参謀長

1941 「満鉄調査部運営ニ関スル要望ノ件」（関参満発第166号）昭和16年1月17日付。野間，他編 [1982] に収録。

関東軍司令部

1936 「満洲国第二期経済建設要綱（昭一一・八・一〇）」（『日中戦争（一）』みすず書房 1964年 [現代史資料 8] 所収）。

関東軍特務部

1933 「熱河省資源調査報告（第一班 第二班）」。

関東憲兵隊司令部編

1944 『在満日系共產主義運動』。極東研究所出版会から1969年覆刻。

関東州普蘭店民政署

1932 『管内支那人の農家経済』関東庁。

関東都督府臨時土地調査部

1915 『関東州土地旧慣一斑』。

笠間杲雄

1939 『回教徒』岩波書店（岩波新書 33）。

片山 潜

[1906?] 「『国体論及び純正社会主義』への書評」（『北一輝著作集』第3巻 みすず書房 1972年所収）。原載は『光』。

Катаяма, Сэн（片山 潜）

1959 Статьи и мемуалы. Москва: Издательство Восточной литературы.

川合貞吉

1953 『ある革命家の回想』日本共同出版。新人物往来社から1973年に再刊。1987年 徳間文庫（徳間書店）に収録。

川上岳三

1943 「播種前の諸作業（農村駐在調査報告 二）」（『満鉄調査月報』第23巻第12号 1943年12月）。

河上 肇

[1906?] 「『国体論及び純正社会主義』への書評」（『北一輝著作集』第3巻 みすず書房 1972年所収）。原載は『読売新聞』。

1932 『資本論入門』改造社。

川崎巳三郎

1940 「インフレーション理論に関する若干の文献について（一）」（『満鉄資料彙報』第5巻第7号 1940年7月）。

風間道太郎

1959 『ある反逆 尾崎秀実の生涯』至誠堂。

1976 『尾崎秀実伝』法政大学出版局。

風見 章

1951 『近衛内閣』日本出版共同。1981年中公文庫（中央公論社）に収録。

「経営組織附表」

1942 「経営組織附表」（南満洲鉄道株式会社新京支社調査室 [1942c] 所収）。

警視庁特高第一課

1943a 「中西功訊問調書」未公開。

1943b 「西里竜夫訊問調書」未公開。

1943c 「尾崎庄太郎訊問調書」未公開。

1943d 「李徳生訐訊問調書」未公開。

「経済調査会事務分掌内規」

1936 「経済調査会事務分掌内規（昭和十一年九月末日現在）」（南満洲鉄道株式会社 [1938b] 第7章 調査並立案機関の業績第4節 経済調査会）。

木戸忠太郎

1912 「撫順炭田地質調査報告」（『支那鉱業時報』第18号 1912年10月）。

1915 「臨江県大栗子溝鉄鉱産地調査報告」（『支那鉱業時報』第31号 1915年7月）。

1940a 「鞍山鉄鉱と京の大文字」（満洲国国务院大陸科学院地質調査所 [1940a] 所収）。

1940b 「満鉄創業当時の回想」（満洲国国务院大陸科学院地質調査所 [1940a] 所収）。

貴島克己（関東軍囑託）

[n.d.] 「満鉄経済調査会沿革史——昭和八年九月十五日迄——」刊行年月、発行者の記入なし。

企画院

1939 「生産力拡充計画要綱」（閣議決定 昭和十四年一月）（『日中戦争（一）』[現代史資料（8）] みすず書房 1964年所収）。

菊池 寛

1943 『満鉄外史』大連 満洲新聞社。原載は『満洲新聞』。原書房から1979年覆刻。

木村六郎

1940 「思ひ出の記」（満洲国国务院大陸科学院地質調査所 [1940a] 所収）。

「金鉱」

1964 「金鉱」（満史会編 [1964] 下巻 「鉱業篇」第9章）。

岸 元吉

1922 『青島及山東見物』訂正増補版 青島 山東経済時報社。



北 一輝

- 1906 『国体論及び純正社会主義』両津町（新潟県）北輝次郎、『北一輝著作集』第1巻 み  
すず書房 1959年に収録。

冀東地区農村実態調査班

- 1936a 『第一回冀東地区内選択農村実態調査概要報告書』（冀東地区農村実態調査班 [1936b] 第4  
部）。
- 1936b 『冀東地区農村実態調査報告』第1-4部 全5冊。

興亜院華中連絡部

- 1942 『中華民国法令索引——国民政府公報の部——』大同印書館。

小林英夫

- 1975 『「大東亜共栄圏」の形成と崩壊』御茶の水書房。

児玉大三

- 1960 「秘録 満鉄調査部」（『中央公論』第75年第12号 1960年12月）。

高軍編

- 1984 『中国社会性質問題論戦（資料選輯）』全2巻 北京 人民出版社。

「鉱業篇」

- 1964 「鉱業篇」（満史会編 [1964] 下巻 第9章）。

小泉信三

- 1962 「私の履歴書」（23）（『日本経済新聞』1962年1月24日）。

小泉吉雄

- 1978 「愚かな者の歩み——ある満鉄社員の手記——」横浜 私家版。

小島麗逸

- 1972 「『北京満鉄月報』（『満鉄支那月誌』、『上海満鉄季刊』）」（『中国雑誌解題特集』『アジア経済資  
料月報』1972年臨時増刊 1972年3月）。

「克山県ニ於ケル土地所有配分ト不在地主」

- 1942 「克山県ニ於ケル土地所有配分ト不在地主」（『新京支社調査室第三委員会月報』第1号  
1942年6月10日）。

古森義久

- 1987 『嵐に書く——日米の半世紀を生きたジャーナリストの記録——』毎日新聞社。

近藤康男

- 1928 『チウネン孤立国の研究』西ヶ原刊行会。
- 1931 『農産物生産費の研究』西ヶ原刊行会。

近衛文麿

- 1946 『平和への努力』日本電報通信社。

公主嶺経済調査会

- 1933 「大泉眼部落調査報告」（『満鉄調査月報』第13巻第11-12号 1933年11-12月）。公主嶺経済  
調査会 [1934] と同一内容。
- 1934 『満洲一農村の社会経済的研究——大泉眼部落調査——』大連 満洲文化協会。公主嶺  
経済調査会 [1933] と同一内容。

公孫愈之

- 1928 「中国農民問題」（『前進』第4-6期 1928年7-8月）。

古田土創平

- 1943 「経済的に見たる播種期の諸問題（農村駐在調査報告 二）」（『満鉄調査月報』第23巻第12

号 1943 年 12 月)。

「康德五年末巴彥県企業調査表」

1940 「康德五年末巴彥県企業調査表」(哈爾濱商工公会『北満経済月報』1940 年 1 月)。

小山貞知

1941 『満洲協和会の発達』南満洲鉄道株式会社総裁室弘報課編 中央公論社(東亜新書 9)。

小山貞知編

1935 『満洲国と協和会』大連 満洲評論社 1935 年。

Kropotkin, Pyotr A.

1904 "The Orography of Asia," *Geographical Journal*, vol. 28, no. 2-3, Jan.-May, 1904.

1979 『或る革命家の手記』岩波書店(岩波文庫)。

熊谷 康

1937 「支那における公路建設の進展」(『上海満鉄季刊』第 1 巻第 3 号 1937 年 10 月)。

1940 「戦時下中支郷鎮雑話——中国民衆の中に立ちて——」(『協和』第 259 号 1940 年 2 月 15 日)。

1943a 「紅槍会のひとびと」(熊谷 [1943b] 所収)。

1943b 『支那郷鎮雑話——長江宣撫記録——』大連日日新聞社。

1943c 「新四軍のまちに入りて」(熊谷 [1943b] 所収)。

1980 「宣撫班回想録——中国農民への追憶——」(上海満鉄回想録編集委員会 [1980] 所収)。

1988 「満鉄上海事務所の宣撫・情報活動」(『アジア経済』第 29 巻第 12 号 1988 年 12 月)。本書収録。

久米正雄

1939-40 「白蘭の歌」(『東京日日新聞』、『大阪毎日新聞』1939 年 8 月 3 日-1940 年 1 月 9 日)。

草柳大蔵

1979 『実録 満鉄調査部』上・下 朝日新聞社 1979 年。『週刊朝日』1978 年 1 月 6 日号から 79 年 5 月 1 日号まで連載。

櫛山 弘

1980 「とっておきの話」(上海満鉄回想録編集委員会 [1980] 所収)。

京都帝国大学学生運動史刊行会編

1984 『京都帝国大学学生運動史』京都 昭和堂。

京都帝国大学経済学部内支那経済慣行調査部

1941 「京都帝国大学経済学部内支那経済慣行調査部第一部-第三部 調査進行状態並ニ将来ノ計画表」。

「京都打合会議」

1939 「京都打合会議」(南満洲鉄道株式会社調査部総合課 [1939b] 所収)。

## M

Mader, Julius

1985 *Dr. Sorge-Report; Ein Dokumentarbericht über Kandschakter des Friendes ...*. Berlin : Militarverlag der Deutschen Demokratischen Republik.

Мадьяр, Л.

1933-35 「支那農業経済」松村四郎・朝比奈覚道・井上照九訳(『満鉄調査月報』第 13 巻第 11 号-第 15 巻第 9 号 1933 年 11 月-1935 年 9 月)。原書名: *Экономика сельского хозяйства в Кумане*. 1931.

- 1935 『支那農業経済論』井上照丸訳 学芸社. 原書名: *Экономика сельского хозяйства в Китае*. 1931.
- 前島正道・熊谷康
- 1940 「戦時貿易国営化より観たる商業機構の再編成」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1940c] 第3部第4章).
- 真鍋藤治
- 1927 「民族自決権の国際法的考察」(『法律学研究』第24巻第6号 1927年6月). 真鍋編 [n.d.] 所収.
- 1941 「重慶政府の戦時立法の実相」(『法律時報』第13巻第1号 1941年1月).
- 1981 「中華人民共和国の思い出」[大和市] 私家版.
- 1986 「華中の都市不動産慣行調査」(『アジア経済』第27巻第7号 1986年7月). 本書収録.
- [n.d.] 「中国に於ける布教権益の研究」. 日本大学法学部学位論文として提出.
- 真鍋藤治編
- 1942 『中華民国法令索引』大同印書館.
- [n.d.] 「真鍋藤治選集 第1巻 (法律学研究及び国際問題評論)」[大和市] 私家版. 刊行年の記入なし.
- 満史会編
- 1964 『満洲開発四十年史』上・下・補巻 全3冊 満洲開発四十年史刊行会.
- 満洲調査機関聯合会農家経済分科会
- [n.d.] 「農家経済簿」新京 刊行年の記入なし.
- 「満洲化学工業の発達と中央試験所」
- 1964 「満洲化学工業の発達と中央試験所」(満史会編 [1964] 下巻「工業篇」第11章).
- 「満洲経済開発に於ける産業部の任務」
- 1936 「満洲経済開発に於ける産業部の任務」(『満鉄資料彙報』第1巻第6号 1936年12月).
- 「満洲鉱業の発達」
- 1964 「満洲鉱業の発達」(満史会編 [1964] 下巻「鉱業篇」第1章).
- 満洲国
- 1933 「満洲国経済建設綱要」1933年3月. 南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935b], 満洲国国務院総務庁企画処 [1936] に収録.
- 満洲国国務院実業部農務司農産科
- 1937 『満洲農産物收穫高予想調査 康德三年』.
- 満洲国国務院実業部臨時産業調査局
- 1935a 『康德元年度農村実態調査 戸別調査之部』全3冊 (産調資料 1).
- 1935b 『康德元年度農村実態調査 戸別調査之部 第三分冊 龍江省』(産調資料 1).
- 1936 「農村実態調査総合調査項目 康德三年度実施」.
- 1937a 『雇傭関係並に慣行篇——康德元年度農村実態調査報告書——』愛甲勝矢執筆 (産調資料 45-5).
- 1937b 『農業経営篇——康德元年度農村実態調査報告書——』桑田敏郎執筆 (産調資料 45-3).
- 1937c 『農業経営統篇——康德元年度農村実態調査報告書——』桑田敏郎執筆 (産調資料 45-7).
- 1937d 『農家概況篇——康德元年度農村実態調査報告書——』大野保・桑田敏郎執筆 (産調資料 45-1).
- 1937e 『農家の負債並に貸借関係篇——康德元年度農村実態調査報告書——』大野保執筆 (産調資料 45-6).

1937f 『農家の負債並に貸借関係篇（南満の部）— 康德三年度農村実態調査報告書—』大野保執筆（産調資料 45-15）.

1937g 『農産物販売事情篇— 康德二年度農村実態調査報告書—』（産調資料 45-10）.

1937h 『農村実態調査本調査実施要綱 康德四年二月以降実施』.

1938 『北満・南満農村実態調査報告書— 租税公課篇—』山県千樹・大野保調査（産調資料 45-14）.

#### 満洲国国務院実業部臨時産業調査局調査部第一科

1936a 『実態調査中ノ農家経済経営調査集計表』.

1936b 『康德三年度県技士見習生農村実態調査報告書』全4冊（産調資料 38-41）.

1936c 『康德三年度農村実態調査 一般調査報告書』全2冊.

1936d 『康德三年度農村実態調査 一般調査報告書 熱河省豊甯県』.

1936e 『康德三年度農村実態調査報告書 戸別調査之部』全4冊（産調資料 36）.

1936f 『康德三年度農村実態調査報告書 戸別調査之部 第一分冊（瑷琿県・洮南県・桦川县・延吉県）』（産調資料 36）.

1936g 『康德三年度農村実態調査報告書 戸別調査之部 第四分冊（海龍県・黒山県・盤山県・豊甯県・甯城県）』（産調資料 36）.

1937 『康德三年度県技士見習生農村実態調査報告書』全4冊（産調資料 38-41）.

#### 満洲国国務院実業部臨時産業調査局資料科

1937 『康德元年度農村実態調査報告書』全15冊（産調資料45-1~14, 16）.

#### 満洲国国務院産業部編

1938 『満洲農産物収穫高予想調査 康德四年度』（産業部資料 29）.

#### 満洲国国務院産業部大臣官房資料科

1938 『農民の衣食住— 農村実態調査報告書—』山県千樹執筆（産業部資料 40-3）.

1939 『農村実態調査（総合・戸別）調査項目』.

#### 満洲国国務院産業部農務司

1937-38 『農村実態調査報告書（県技士見習生）』康德4-5年度 全5冊.

#### 満洲国国務院総務庁企画処

1936 『満洲国経済建設ニ関スル資料』.

#### 満洲国国務院司法部

1944 『満洲家族制度慣習調査 第1巻— 哈爾浜及延吉地方—』有斐閣. 千種編著 [1964-67] 第3巻に収録.

#### 満洲国国務院大陸科学院地質調査所

1938-40 『地質調査所要報』全18冊.

1940a 『地質調査所三十一年史』.

1940b 『満洲国及接壤地帯地質図』.

#### 満洲国立開拓研究所

1944 『原住民農村実態調査（第一報）』（開拓研究所資料 31）.

#### 満洲国立公主嶺農事試験場農業経営科

1939 『寧安県第三区上馬河甲農村実態調査』（『研究時報』第28号）.

#### 満洲国史編纂刊行会編

1970-71 『満洲国史』総論・各論 全2冊 満蒙同胞援護会.

#### 満洲青年連盟史刊行委員会

1933 『満洲青年連盟史』大連. 原書房から1968年複製.

## 満洲帝国大同学院

1935 『康德元年度満洲国郷村社会実態調査抄』.

1936 『康德二年度満洲農村社会実態調査報告書』全2冊.

## 『満鉄』

1966-67 『満鉄』(一) - (三) みすず書房 (現代史資料 31-33).

## 『満鉄・一九三七年宣撫工作計画』

1937-38 『満鉄・一九三七年宣撫工作計画』. 編纂個所の記入なし.

## 『満鉄案』

1939 『満鉄案』(参考別綴 第1号) [東亜研究所第六調査委員会]. 第六調査委員会内外地委員打合せ提出資料.

## 『満鉄地質調査所の業績』

1964 『満鉄地質調査所の業績』(満史会編 [1964] 下巻「鉱業篇」第12章).

## 『満鉄調査部 支那抗戦力調査報告』

1970 『満鉄調査部 支那抗戦力調査報告——支那抗戦力調査委員会昭和十四年度総括資料——』三一書房 1970年. 南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] の複製.

## 『(満鉄調査部史) 第一回グループ・ヒアリング記録』

1959 『(満鉄調査部史) 第一回グループ・ヒアリング記録』1959年2月13日. 草稿.

## 満鉄会編

1973 『満鉄最後の総裁 山崎元幹』.

1986a 『満鉄資料を求めて——有馬勝良遺稿集——』.

1986b 『南満洲鉄道株式会社第四次十年史』龍溪書舎.

## 満鉄会・嶋野三郎伝記刊行会編

1984 『嶋野三郎——満鉄ソ連情報活動家の生涯——』原書房.

## 『満鉄経済調査会新京出張所宮崎正義ヨリ経済調査会委員長宛公函』

1933 『満鉄経済調査会新京出張所宮崎正義ヨリ経済調査会委員長宛公函』昭和8年2月29日付.

## 『満鉄の使命と産業部創設の意義』

1936 『満鉄の使命と産業部創設の意義』(『満鉄資料彙報』第1巻第6号 1936年12月).

## 『満鉄支那月誌』

1932 「特輯『支那研究』」(『満鉄支那月誌』第9年第11/12号 1932年12月). 内容: 野中時雄「支那調査機関の連合への提唱」, 後藤末雄「現代における仏国の支那研究」, 「中国歴史研究に関する文献」, 「欧米における支那研究」, 「独乙における支那研究」, 南満洲鉄道株式会社上海事務所支那研究室「支那研究機関及団体に関する調査」, 同「支那研究に関する調査について」, 上海自然科学研究所「上海自然科学研究所の成立と現況」.

## 丸沢常哉

1979 『新中国建設と満鉄中央試験所』二月社.

## Marx, Karl 著 Friedrich Engels 編

1937 『資本論——経済学批判 第1巻第1分冊第1部 資本の生産過程——』長谷部文雄訳 2巻 日本評論社.

## 松田亀三

1938 「熱河省平泉県隆化県下鉛鉱床調査報告」(『地質調査所報告』第92号 1938年3月).

1988 「満鉄地質調査所概史」(『アジア経済』第29巻第1号 1988年1月). 本書収録.

- 1990 「満鉄地質調査所私記」 横浜 私家版。
- 松本烝治
- 1934 「心から許した友」(「石川鉄雄君の面影」[1934] 所収)。
- 松本健一
- 1975 「満鉄調査部論」(松本健一『思想としての右翼』第三文明社所収)。
- 松本於菟男
- 1934 「同志日森のために——『中国資料月報』の発刊に当りて——」(『中国資料月報』第1巻第1号 1934年11月)。
- 松本重治
- 1974-75 『上海時代——ジャーナリストの回想——』全3冊 中央公論社(中公新書)。
- 松岡瑞雄
- 1937 「満洲に於ける農家負債の現態」(『満鉄調査月報』第17巻第3号 1937年3月)。
- 1940-41 「調査部の任務及組織の基本問題に関する私見」(第一部)-(第二部)(『満鉄調査部報』第1巻第8-9号 1940年12月-41年1月)。野間、他編[1982]に第一部を収録。なお、他に南満洲鉄道株式会社新京支社調査室[1940]がある。
- 松岡洋右伝記刊行会編
- 1974 『松岡洋右——その人と生涯——』講談社。
- 「明治三十九年度日本帝国陸軍作戦計画要領」
- 1906 「明治三十九年度日本帝国陸軍作戦計画要領」参謀総長侯爵大山巖(角田順『満洲問題と国防方針』原書房 1967年所収)。
- Meisner, Maurice
- 1971 『中国マルクス主義の源流——李大釗(リー・ター・チャオ)の生涯——』丸山松幸・上野恵司訳 平凡社(平凡社選書 8)。原書名: *Li Ta-chao and Origins of Chinese Marxism*. 1967.
- 南満洲鉄道株式会社
- 1909-40 『社員録』。大正十四年-昭和六年は『職員録』。
- 1919 『南満洲鉄道株式会社十年史』。
- 1933a 「経済調査会幹事東京在勤ノ件」1933年10月31日(南満洲鉄道株式会社重役会議決議)。
- 1933b 「満鉄改造拡充実施要項案ニ関スル件」1933年10月4日(特秘)(南満洲鉄道株式会社重役会議決議録 特第8号ノ61)。
- 1934 「経済調査会ニ関スル会社方針決定ニ関スル件」1934年10月29日(南満洲鉄道株式会社重役会議決議録 特第9号ノ73)。
- 1937-38 『第二次冀東農村実態調査報告書 統計編』全3冊 南満洲鉄道株式会社産業部資料室・天津事務所編。
- 1938a 『第二次冀東農村実態調査報告書 統計篇 第四班 昌黎県』。
- 1938b 『南満洲鉄道株式会社第三次十年史』。龍溪書舎から1976年復刻。
- 1939 「調査部拡充の意義」(南満洲鉄道株式会社『第七十五回帝国議会説明資料』所収)。野間、他編[1982]に収録。
- 1940 「支那慣行調査実施ニ関スル件」昭和15年4月20日付 南満洲鉄道株式会社。社内決裁文書。
- [n.d.] 「会社職制箇所長、次長、箇所長次席(箇所長代理、参事)及箇所長代理一覧」。編纂年月の記入なし。南満洲鉄道株式会社創設以来の会社機構および箇所長等の一覧。『南満洲鉄道株式会社 課級以上組織機構変遷並に人事異動一覧表』龍溪書舎 1992年は本資料

を再整理したもの。

南満洲鉄道株式会社地質調査所

- 1929 「南部安奉線及旅大民政署管内石灰岩に就いて」矢部茂担当（『地質調査所報告』第81号 1929年6月）。
- 1931a 『奉天図幅地質説明書』羽田重吉担当。
- 1931b 『奉天図幅地質図』。
- 1933-36 『満洲鉱物調査報告』全2号。
- 1934 「張台子炭田の発見調査報文」尾崎博担当。
- 1936a 「福建省安溪縣潘田鉄鉱調査報告」坂本峻雄担当。
- 1936b 「福建省安溪縣竜安県下地質鉱産調査報告」松田亀三担当。
- 1936c 「奉天省開原県営城子鉄山調査報告」松田亀三担当。
- 1937a 『満洲北部の地質及地誌』。
- 1937b 『満洲北西部の地質及地誌』。
- 1937c 『満洲北東部の地質及地誌』。
- 1937d 『満洲南西部の地質及地誌』。

南満洲鉄道株式会社調査部

- 1937a 『北支那農村合作社設立方策』（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937e] 第6編第1巻第2号其1）。
- 1937b 「満洲・五箇年計画立案書類」全14冊。
- 1937c 『満洲永年計画資料』（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937b] 第1編第2巻）。
- 1937d 『満洲五箇年計画概要』（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937b] 第1編第1巻）。
- 1937e 「支那・立案調査書類」全56冊。
- 1937f 『支那土地問題に関する調査資料』南満洲鉄道株式会社産業部資料室調査班法制係担当。1940年12月東亜研究所第六調査委員会から『支那土地問題に関する資料』として複製。
- 1939 『満洲農業移民概説』中野正雄等執筆（産業調査資料 第52編）。
- 1939-41 『北支那工場実態調査報告』全5冊。天津、済南、濰県、芝罘、青島、山西の5部。
- 1940a 『北支棉花綜覧』田中義英・江上利雄・片山英夫等執筆 日本評論社。
- 1940b 『北支農村概況調査報告——彰徳県第一区宋村及侯七里店——』服部満江・小島大吉執筆 日本評論社。
- 1940c 『支那経済年報（昭和十五年版）』改造社。
- 1941a 「調査部運営基本方針」昭和16年2月（『満鉄調査部報』第1巻第10号 1941年2月）。野間、他編 [1982] に収録。
- 1941b 『独逸占領地域の経済経営』長守善著 日本評論社。
- 1941c 『北満農業機構再編成に関する基礎的研究』佐藤武夫執筆（新京調査室資料 第6編）（満鉄調査研究資料 第40編）。
- 1941d 『満洲経済研究年報（昭和十六年版）』改造社。
- 1941e 『最新標音 蒙露日大辞典』ア・ペ・ヒオーニン・石田喜與司共著 学芸社。
- 1941f 『晋察冀辺区に於ける中国共産党の農業政策』佐藤晴生（北支経済調査所囑託・多田部隊参謀部囑託）執筆。
- 1942a 『北満に於ける雇農の研究』石田精一執筆 博文館。
- 1942b 『北満農業機構動態調査報告』全2冊 博文館。第1編：滨江省呼蘭県孟家村孟家区調査部第一調査室石田精一執筆，第2編：北安省綏化県蔡家窩堡 新京支社調査室編。
- 1942c 『北支那の農業と経済』上・下 日本評論社。

- 1942d 「日本重工業自主性確立ノ為ノ調査—取纏目次並資料—」5冊。
- 1942e 「日本重工業ノ技術的特質ト戦時的拡充ニ伴フ矛盾ノ発展」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1942d] 第3分冊)。野間, 他編 [1982] に収録。
- 1942f 「日本戦時経済諸要請ニ基ク負担転嫁ノ最終基定タル北支農村社会ニ於ケル矛盾ノ激化」(南満洲鉄道株式会社調査部編 [1942d] 第4分冊補)。野間, 他編 [1982] に収録。
- 1942g 『支那経済年報 (昭和十六年版)』。
- 1942h 『食貨史彙編』松崎鶴雄編。
- 1943 『満洲土地問題関係文献目録 附 満洲土地制度の理解に関する一關鍵』福田喜次・田中恆・梅津武三作成 (満鉄調査研究資料 第72編)。
- [n.d.] 『レーニン著「資本主義の最高段階としての帝国主義」に対する新資料』増補改訂第2版 エ・ヴァルガ, エル・メンデリゾン, エ・フメリニチカ編 堀江邑一訳。刊行年の記入なし。

南満洲鉄道株式会社調査部編

- 1939a 『満洲経済年報 (昭和十三年版)』改造社。
- 1939b 『満洲経済年報 (昭和十四年版)』改造社。

南満洲鉄道株式会社調査部第三調査室

- 1941 「昭和十六年度業務計画」。

南満洲鉄道株式会社調査部第四調査室

- 1940 「熱河省深平県大廟鉄鉱調査報告」松井克政担当。
- 1941 「昭和十六年度調査計画綱要」。

南満洲鉄道株式会社調査部次長

- 1939 「支那慣行調査ニ関スル件」昭和14(1939)年12月15日付。東亜研究所第六調査委員会委員長宛。

南満洲鉄道株式会社調査部工業立地条件調査委員会

- 1940 「工業立地条件調査中間報告」。
- 1940-41 「日満支工業立地条件調査報告」。

南満洲鉄道株式会社調査部支那慣行調査委員会

- 1940-43 「中支商工慣行資料」南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室担当 42冊。

南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会

- 1940a 「支那抗戦力調査委員会, 昭和十四年度調査経過」(南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940i] 所収)。
- 1940b 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料』全10冊 大連。『満鉄調査部 支那抗戦力調査報告』[1970] として複製。
- 1940c 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 外援篇』具島兼三郎執筆 (南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第10分冊 五—列国の対支援助)。
- 1940d 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 奥地経済篇 (I)』石川正義執筆 (南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第8分冊 四のI—農業)。
- 1940e 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 政治篇 (I)』中西功執筆 (南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第2分冊 二のI—戦時の支那内政)。
- 1940f 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 政治篇 (II)』津金常知・小倉音次郎執筆 (南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第3分冊 二のII—戦時の支那内政)。
- 1940g 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 戦時経済政策篇 (II)』熊谷康・岸川



忠嘉執筆（南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第5分冊 三ノII－商業・貿易）。

1940h 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 戦時経済政策篇（III）』熊谷康・岸川忠嘉執筆（南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第5分冊 三ノIII－商業・貿易）。

1940i 『支那抗戦力調査委員会 昭和十四年度総括資料 総篇』中西功執筆（南満洲鉄道株式会社調査部支那抗戦力調査委員会 [1940b] 第1分冊 一－調査の方法論及び総結論）。

1940j 「支那抗戦力調査委員会成立経過報告」（南満洲鉄道株式会社支那抗戦力調査委員会 [1940i] 所収）。

1940k 「支那抗戦力調査委員会運用要領（昭和十五年七月）」（南満洲鉄道株式会社支那抗戦力調査委員会 [1940i] 所収）。

#### 南満洲鉄道株式会社調査部支那都市不動産慣行調査委員会

1941a 「支那都市不動産慣行調査資料」第1輯 調査部付法制班村田久一・山本純愚・浜岡福松担当。在北京某機関保存記録中不動産関係部分ノ目次ノ件名ヲ摘録シタモノ。

1941b 「支那都市不動産慣行調査資料」第2輯 調査部付法制班村田久一・山本純愚・浜岡福松担当。在北京某機関保存記録ヨリ其ノ内容ヲ抄録シタモノト支那文ヲ其ノママ筆記シタモノヲ含ム。

1941c 「支那都市不動産慣行調査資料」第3輯 調査部付法制班村田副参事・秋山職員・野崎雇員。在北京某機関保存記録ヨリ北京ニ於ケル外国人不動産権益調査資料ヲ抄録。

1941-43 「支那都市不動産慣行調査資料」南満洲鉄道株式会社調査部付法制班担当 15輯 全31冊。

#### 南満洲鉄道株式会社調査部資料課

1940a 「部内資料取扱打合会議事報告」（『満鉄資料彙報』第5巻第9号 1940年9月）。

1940b 「調査部昭和十五年度受入の邦文雑誌一覧」（『満鉄資料彙報』第5巻第3号 1940年3月）。

1940c 「調査部昭和十五年度受入の欧文雑誌新聞一覧」（『満鉄資料彙報』第5巻第3号 1940年3月）。

1940d 「英国王立亜細亜学会北支支部誌索引」（『満鉄資料彙報』第5巻第11-12号 1940年11-12月）。*Journal of North China Branch of the Royal Asiatic Society*の本文総索引。

1940e 「インフレーション関係文献目録」（『満鉄資料彙報』第5巻第7号 1940年7月）。

1940f 「満洲労働問題文献目録」米山雄治編（『満鉄資料彙報』第5巻第10号 1940年10月）。

1940g 「再生産表式ト地代範疇（農業問題ニ関スル若干ノ資料）付録・東亜食糧問題ノ見地ヨリスル支那米穀調査（準備案）」東京帝大山田盛太郎講演 1940年1月。昭和10（1935）年12月東京帝国大学において行われた山田盛太郎の講演記録を佐藤洋が整理。

1940h 「資料業務打合会に於ける議事の摘要報告——特に業務実績の報告並検討、資料分科会を中心として——」（『満鉄資料彙報』第5巻第1号 1940年1月）。

1940i 「資料機関連絡事務打合会議々事報告——自五月七日至九日、於厚生会館——」（『満鉄資料彙報』第5巻第5号 1940年5月）。

1941a 「『チャイニーズ・エコノミック・ジャーナル』記事総索引」（『満鉄資料彙報』第6巻第3号 1941年3月）。

1941b 「仏領印度支那文献目録」満鉄大連図書館編（『満鉄資料彙報』第6巻第7号 1941年7月）。

1941c 「満洲農業関係文献目録」（『満鉄資料彙報』第6巻第1号 1941年1月）。

1941d 「満洲農業労働者文献目録」（『満鉄資料彙報』第6巻第1号 1941年1月）。

1941e 「満洲土地問題関係文献目録」（『満鉄資料彙報』第6巻第8-12号 1941年8-12月）。

- 1941f 「日満支ブロック関係文献目録」(『満鉄資料彙報』第6巻第3号 1941年3月)。
- 1941g 「露文雑誌極東関係論文目録」(『満鉄資料彙報』第6巻第5号 1941年5月)。
- 1941h 「支那抗戦関係文献目録」(『満鉄資料彙報』第6巻第4-6号 1941年4-6月の別刷)。
- 1941i 「資料・編纂連絡打合会議々事報告—四月七・八日、於厚生会館—」(『満鉄資料彙報』第6巻第5号 1941年5月)。
- 1941j 「昭和十六年期社内各箇所受入雑誌新聞一覧」(『満鉄資料彙報』第6巻第5-6号 1941年5-6月の別刷)。
- 1942a 「調査論関係文献目録」(『満鉄資料彙報』第7巻第2号 1942年2月)。
- 1942b 「満洲工業関係文献目録」(『満鉄資料彙報』第7巻第1号 1942年1月)。
- 1942c 「資料・編纂連絡打合会議々事報告—四月十五・十六日、於大連厚生会館—」(『部報』第16号 1942年9月)。
- 1942d 「ソ聯より見たる支那問題文献目録」(『満鉄資料彙報』第7巻第3号 1942年3月)。
- 1943 「支那関係青書目録」英文標題: *Detailed Catalogue of the Blue Books (Parliamentary Papers) on China, 1820-1907*。『資料彙報』第2-6号 1942年5-11月の別刷。

#### 南満洲鉄道株式会社調査部綜合課

- 1939a 「支那慣行調査ニ関スル東亜研究所トノ打合諒解事項」1939年12月。
- 1939b 「支那慣行調査打合会議諸會議議事録」(南満洲鉄道株式会社調査部綜合課 [1939c] に収録)。
- 1939c 「昭和十五年度綜合調査業務計画案」1939年12月19日。
- 1939d 「双城県ニ於ケル農民カラノ聴取調査覚書」。
- 1940a 「調査部業務計画—昭和十五年度—」(『満鉄調査部報』第1巻第2号 1940年6月)。
- 1940b 「調査部業務処理報告(八月份)」(『満鉄調査部報』第1巻第5号 1940年9月)。
- 1940c 「調査部連絡会議記録—昭和十四年十一月十六日・二十一日 於東京狸穴社宅会議室—」(『満鉄調査彙報』第3巻第1号 1940年1月抜刷)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1940d 「法制調査連絡会議録」(『満鉄調査部報』第1巻第7号 1940年11月)。
- 1940e 「日満支インフレーション調査第二次中間報告会議事概要並に議事内容」(『満鉄調査部報』第1巻第8号別刷 1940年12月)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1940f 「支那慣行調査計画」(『満鉄調査部報』第1巻第1号 1940年5月)。
- 1940g 「支那抗戦力調査委員会」(『満鉄調査部報』第1巻第1号 1940年5月)。
- 1940h 「統一的業務計画について」(『満鉄調査部報』第1巻第1号 1940年3月)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1941a 「業務担当者会議主要議事経過報告」(『満鉄調査部報』第1巻第10号 1941年2月)。
- 1941b 「首脳者会議申合事項」(『満鉄調査部報』第1巻第10号 1941年2月)。
- 1941c 「支那抗戦力調査」(『満鉄調査部報』第2巻第2号 1941年5月)。
- 1941d 「綜合委員会設置の趣旨及構成並運営方針」(南満洲鉄道株式会社調査部綜合課 [1941a] 所収)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1942 「業務担当者会議議事報告」(『部報』第15号 1942年3月)。

#### 南満洲鉄道株式会社調査部総務課

- 1942a 「慣行調査幹事会及報告会」(『部報』第16号 1942年9月)。
- 1942b 「綜合調査(旧戦経調査)に関する諸意見覚書(昭和十七年八月)」(『部報』第17号 1943年1月)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1943a 「調査部運営方針(昭一七・一一、業審申合要旨)」(『部報』第17号 1943年1月)。野間、他編 [1982] に収録。
- 1943b 「支那慣行調査委員会第三回常任幹事会(昭一八・一一・五)」(『部報』第17号 1943年1月)。

## 南満洲鉄道株式会社調査課

- 1909a 『安奉沿線旧慣調査資料』.
- 1909b 『錦州府管内経済調査資料 広甯・錦州・義州・甯遠州』井坂秀雄調査.
- 1909-14 「満蒙交界地方経済調査資料」全3冊. 第二, 第三は総務部事務局調査課編.
- 1910 『露国極東経済調査資料』森御蔭・井坂秀雄調査.
- 1910-11 「北満洲経済調査資料」3冊.
- 1910-12 「南満洲経済調査資料」全6冊.
- 1911a 『露国占領前後ニ於ケル大連及旅順』森御蔭調査.
- 1911b 『西部西伯利亚経済調査資料』森御蔭調査.
- 1912a 『松花江黒龍江及両江沿岸経済調査資料』森御蔭調査.
- 1912b 『東清鉄道沿線に於ける森林 東清鉄道に要する燃料』森御蔭調査(資料彙存 第5号).
- 1913a 『北満洲ニ於ケル物資流動状態』森御蔭調査(資料彙存 第6号).
- 1913b 『東部西伯利亚経済調査資料』森御蔭調査.
- 1914 『東清烏蘇里両鉄道輸送貨物』森御蔭調査(資料彙存 第7号).

## 南満洲鉄道株式会社調査局第二満洲調査室第一班

- 1943 「農村駐在調査報告(一)——吉林省懷徳県響水村榆樹林屯魏家窪子——」(『満鉄調査月報』第23巻第11号 1943年11月).

## 南満洲鉄道株式会社中央試験所

- 1937-38 『中央試験所要覧』昭和12-13年版.
- 1941 『中央試験所研究業績』.

## 南満洲鉄道株式会社大連図書館

- 1931-37 『南満洲鉄道株式会社大連図書館と漢図書分類目録』第1-8編 全8冊.
- 1936-38 『南満洲鉄道株式会社大連図書館と漢図書分類目録』第1-8編追録 全8冊.

## 南満洲鉄道株式会社哈爾濱事務所

- 1936 「ソ聯と北満大豆」(『満鉄調査月報』第16巻第11号 1936年11月).
- 1938 「支那事変を中心とする日本の国際的地位に関するソ聯の評価」(『満鉄調査月報』第18巻第5号 1938年5月).

## 南満洲鉄道株式会社哈爾濱事務所産業課露西亞係

- 1934-35 「哈産露極東資料」全95冊. 第76号から哈爾濱鉄路局北満経済調査所露西亞係編.
- 1935 「極東区誌」全39輯(哈産露極東資料).

## 南満洲鉄道株式会社哈爾濱図書館

- 1938 『亜細亜文庫図書目録』.
- 1942 『亜細亜文庫図書目録 追録第一』.

## 南満洲鉄道株式会社北満経済調査所(哈爾濱)

- 1939a 『黒河省産業実態調査報告 第一編 調査経過及調査地方事情』佐藤武夫・福岡勝担当(北経調査刊行書 第47号).
- 1939b 『満洲の探検と鉱業の歴史』E. E. Ahnert 著 北満経済調査所訳 学芸社・興亜書院.
- 1939c 『労働を中心として見たる北満農村の農業経営事情——浜江省双城県大白窩堡に於ける調査——』全2冊(北経調査刊行書 第54, 51号). 第1編: 統計之部, 第2編: 記述之部.
- 1940a 「北満農家経済調査報告」全3冊 大橋与一担当(北経調査 特27, 31, 33号).
- 1940b 『黒河省産業実態調査報告 第三編 農業事情』佐藤武夫執筆(北経調査刊行書 第53号).

[n.d.] 「満鉄調査機関ノ組織ニ関スルー私見」野中時雄担当 刊行年月の記入なし.

南満洲鉄道株式会社北支事務局調査部（北京）

1938 『北支農業要覧』（北支調査資料 第3輯）。

南満洲鉄道株式会社北支事務局調査班

1937 「元天津事務所調査課報告書目録」。

南満洲鉄道株式会社北支事務局調査室

1937-44 「北支調査資料」全46輯。北支事務局調査部，北支経済調査所，調査部，調査局と編者は変遷。

南満洲鉄道株式会社北支事務局調査室農産係

1938a 「北支ニ於ケル満鉄農業関係調査経過概要」水野薫執筆。

1938b 「京漢沿線地帯（北京—石家荘）ニ於ケル農村ノ現状」水野薫執筆。

南満洲鉄道株式会社北支事務局調査室農政係

1938 「北支農業建設ト日本ノ大陸経営」内ヶ崎虔二郎執筆。

南満洲鉄道株式会社北支経済調査所（北京）

1939a 『青島近郊ニ於ケル農村実態調査報告——青島特別市李村区西韓哥荘——』福留邦雄（北支調査資料 第7輯）。

1939b 「北支ニ於ケル慣行調査経過報告」執筆者村田久一【東亜研究所第六調査委員会】1939年10月（参考別綴 第3号）（第三班主任）。東亜研究所第六調査委員会内外地委員打合せ提出資料。

1939c 『事変下の北支農業の諸問題』内ヶ崎虔二郎執筆（北支調査資料 第8輯）。

1939d 『農家経済調査報告 昭和十二年度 豊潤県宣荘鎮米廠村』東出隼一執筆（北支調査資料 第5輯）。

1940a 『農家経済調査報告 昭和十三年度 豊潤県宣荘鎮米廠村』東出隼一執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料 第16輯）（満鉄調査研究資料 第12編）。

1940b 「山田盛太郎氏 満洲・支那農業視察報告」、『北満合作』第1巻第3号 1940年7月に掲載されたものを摘録。

1941a 「事変下北支地方経済社会ノ現状 第一次調査報告書」8冊。

1941b 「北支那ニ於ケル雇役制度——大行，五台地方ニ於ケル用夥計種ニ就テ——（中間報告）」佐藤晴生執筆。

1941c 『農家経済調査報告 昭和十四年度 豊潤県宣荘鎮米廠村』春原孝平・友永繁雄等執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料 第19輯）（満鉄調査研究資料 第36編）。

1941d 『農家経済調査報告 昭和十四年度 獲鹿県第二区馬村』東出隼一・春原孝平執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料 第18輯）（満鉄調査研究資料 第32編）。

1942a 『農家経済調査報告 昭和十五年度 彰徳県第十区武官村』森和民執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料 第25輯）（満鉄調査研究資料 第52編）。

1942b 「戦時経済調査と満鉄調査部の立場」（『部報』第16号 1942年9月）。野間，他編 [1982] に収録。

南満洲鉄道株式会社北支経済調査所編

1939-40 「北支農村概況調査報告」全4冊 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料）（満鉄調査研究資料）。

1940 「北支農村概況調査報告 三 瀋陽第一区高家樓村」渋谷恒喜・岩上啓執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（北支調査資料 第17輯）（満鉄調査研究資料 第17編）。

南満洲鉄道株式会社北支経済調査所第五班

1940 「北支紡績業立地条件調査」3冊 林田豊執筆。青島ノ部，済南ノ部，天津ノ部。

## 南満洲鉄道株式会社北支経済調査所現段階委員会第一分科会

- 1941a 「北支インフレーションノ発展段階ト特質」第二班山口正吾担当(北支インフレーション調査報告 第1編 総括編)。野間, 他編 [1982] に収録。
- 1941b 「北支インフレーション対策ノ基本方向」山口正吾執筆(北支インフレーション調査報告 第3編 対策編)。野間, 他編 [1982] に収録。

## 南満洲鉄道株式会社北支経済調査所慣行班

- 1941 「東研関係者トノ懇談会記録(昭和十五年九月)」安藤鎮正筆記。
- 1941-44 「北支慣行調査資料之部」全114冊。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査委員会

- 1936 「満洲産業開発五箇年計画綱要」1936年11月。南満洲鉄道株式会社調査部 [1937d] に収録。
- 1937a 「支那駐屯軍満鉄経済調査委員会第二回懇談会報告ノ件(昭一二, 一, 二五支那駐屯軍満鉄経済調査委員会第二回会議報告)」大上末広執筆。
- 1937b 「支那駐屯軍満鉄経済調査委員会第三回懇談会報告書(於昭, 一二, 五, 一三満洲館 同一二, 五, 一四満鉄社員倶楽部)」南満洲鉄道株式会社産業部庶務課業務係。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査委員会重要商品価額構成調査小委員会

- 1938 「『価額構成調査』の成果とその総合的吟味」佐瀬六郎。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査委員会重要商品価格構成調査小委員会

- 1937a 「満洲重要輸入商品価格構成表 昭和十一年十二月一日現在」南満洲鉄道株式会社産業部・満洲国財政部共編。
- 1937b 「満洲重要輸出商品価格構成調査表 昭和十一年十二月一日現在」南満洲鉄道株式会社産業部・満洲国財政部共編。
- 1937c 「満洲農家ニ於ケル農産物生産費並価額研究」内ヶ崎虔次郎等担当。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査委員会協同組合研究小委員会

- 1937 「鉄嶺県ニ於ケル農村行政組織ト其ノ運営現態」佐々木義武著。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査委員会満洲湿地調査小委員会

- 1937a 「地質土壤水利学上ヨリ見タル北満湿地論」4冊。
- 1937b 「満洲北部地方湿地調査参考資料」10冊(満洲湿地調査小委員会関係資料)。

## 南満洲鉄道株式会社経済調査会

- 1933a 「満洲国経済建設綱要(案)」宮崎正義・安盛松之助・斉藤征生担当(南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935b] 所収)。
- 1933b 「満洲に於ける糧棧——華商穀物問屋の研究——」再版 斉藤征生担当 1933年(経調資料 第33編)。南満洲鉄道株式会社総務部調査課 [1931] の再版。
- 1933c 「満洲の鉱業」上加世田成法・岡村栄・下田有文担当(経調資料 第34編)(満洲産業叢書 第5輯)。
- 1933d 「満洲の苦力」武居郷一執筆(経調資料 第25編)。『満鉄調査月報』第13巻第6-7号 1933年6-7月掲載の論文の別刷。
- 1933e 「清朝時代に於ける満洲の農業関係——旧満洲の土地形態と地代形態——」大上末広執筆(経調資料 第24編)。『満鉄調査月報』第13巻第3-5号 1933年3-5月掲載の論文の別刷。
- 1934a 「経済調査会ニ関スル会社方針ノ決定ニ関スル件」(満鉄経調34, 第1号ノ41 経済調査会起案) 1934年10月5日。南満洲鉄道株式会社「経済調査会ニ関スル会社方針ノ決定ニ関スル件」1934年10月29日(満鉄重役会議決議録 特第9号ノ73)の添付書類。
- 1934b 「満洲に於ける一農村の農業労働者——吉林省永吉県南荒地農村調査中間報告——」水谷

- 国一担当(経調資料 第55編)、『満鉄調査月報』第14巻第10号 1934年10月掲載の論文の別刷。
- 1934c 『満洲の一農村に於ける農民の租税負担——吉林省永吉県南荒地農村経済調査中間報告——』野間清担当(経調資料 第57編)、『満鉄調査月報』第14巻第10号 1934年10月掲載の論文の別刷。
- 1934-40 「露文翻訳ソ聯極東及外蒙調査資料」全60編。第34-44編は産業部編、第45-60編は調査部編。
- 1935a 「第一回関東軍幕僚、経調懇談会記録」。
- 1935b 『満洲経済統制方策』(南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935-36b] 第1編第1巻)。
- 1935c 『満洲国財政の将来性』(南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935-36b] 第28編第2巻)。
- 1935d 『満洲に於ける一農村の金融——吉林省永吉県農村調査中間報告——』水谷国一担当(経調資料 第65編)。
- 1935e 『熱河資源調査報告』全2冊(南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935-36c] 第2編第1巻、同続)。
- 1935f 『熱河省凌源県十五里堡に於ける土地慣行』土肥武雄担当(経調資料 第101編)、『満鉄調査月報』第15巻第9-10号 1935年9-10月の別刷。
- 1935g 『山東農業経済論』天野元之助執筆(経調資料 第97編)(山東省経済調査資料 第3輯)。
- 1935h 『山東省一農村(張耀屯)に於ける社会・経済事情』水野薫執筆(経調資料 第95編)、『満鉄調査月報』第15巻第7-8号 1935年7-8月に掲載の論文の別刷。
- 1935i 『清朝経費の研究』松井義夫担当(経調資料 第66編)、『満鉄調査月報』第14巻第11号-第15巻第1号 1934年11月-1935年1月掲載の論文の別刷。
- 1935-36a 「満洲農業移民方策」(満鉄経済調査会 [1935-36b] 第2編)全17冊。
- 1935-36b 「立案調査書類」全107冊。
- 1935-36c 「資源調査書類」全33冊。
- 1936a 「第一回支那駐屯軍、経済調査会懇談会議事録」南満洲鉄道株式会社産業部庶務課業務係。
- 1936b 「第一回打合会」(昭和11年6月4日)(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936c 「第四回関東軍経調懇談会」(昭和11年4月11日)(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936d 「永年計画案説明会議」(昭和11年9月8日)(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936e 「永年計画大綱案打合会」(昭和11年5月26日)(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936f 『合夥股東の責任に関する一研究——民法第六八一条を中心として——』土肥武雄担当(経調資料 第111編)、『満鉄調査月報』第16巻第1-3号 1936年1-3月掲載の論文の別刷。
- 1936g 『事变後に於ける糧棧の変革——変革過程に於ける特産物取引機構に関する一考察——』斉藤征生担当(経調資料 第112編)、『満鉄調査月報』第16巻第3-4号 1936年3-4月の掲載の論文の別刷。
- 1936h 「郷村協同組合政策(改訂案)(満洲産業開発永年計画 第三編第三章)」昭和11年8月(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936i 「満洲産業開発永年計画案(大綱)」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936j 「満洲産業開発永年計画企業対策(覚書)」1936年8月(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936k 「満洲産業開発永年計画農業政策(覚書)」1936年8月(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。
- 1936l 「聯絡委員会準備打合会」昭和11年6月1日(南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収)。

- 1936m 「林業政策（永年計画案 第三編第七章）」1936年8月（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収）。
- 1936n 「山東省中部山地帯に於ける農業事情」水野薫執筆（経調資料 第106編）。『満鉄調査月報』第15巻第11号 1935年11月に掲載の論文の別刷。
- 1936o 「支那共產軍最近ノ動向——主トシテ山西進攻後ノ情勢ニ就テ——」在上海日森虎雄取總大塚令三担当。
- 1936p 「支那赤色勢力の現段階」大塚令三執筆（経調資料 第126編）。第6回太平洋会議提出。英訳は日本国際協会, *The Red Influence in China*. 1936.
- 1936q 「商業金融部門政策（満洲産業開発永年計画 第二編第四章）」1936年8月（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収）。
- 1936r 「主査会議（昭和十一年八月十五日）」（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収）。
- 1936s 「ソ聯極東の産金地」全2冊 E. E. Ahnert 訳（露文翻訳ソ聯極東及外蒙調査資料 第33編）。
- 1936t 「土地政策（永年計画案 第三編農業政策 第二章土地政策）」1936年8月（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937c] 所収）。
- 1936u 「洮南県大茂好屯小作関係竝ニ負担関係聴取調査及ビ証憑類」。
- 1936v 「ゼーヤ河上流地域地質調査書」E. E. Ahnert 訳（露文翻訳ソ聯極東及外蒙調査資料 別輯第2号）。
- 南満洲鉄道株式会社経済調査会編
- 1933 『満洲経済年報 一九三三年版』改造社。
- 1934 『満洲経済年報 一九三四年版』改造社。
- 1935 『満洲経済年報 一九三五年版』改造社。
- 南満洲鉄道株式会社経済調査会第一部
- 1932 「満洲経済統制策（後篇）（政策篇）」。
- 南満洲鉄道株式会社経済調査会第五部
- 1935 「錦州省錦県域に於ける金融並商工機構」（『満鉄調査月報』第15巻第11号 1935年11月）。
- 南満洲鉄道株式会社経済調査会第五部外事班
- 1936a 「開遼炭礦資料」村田久一執筆。
- 1936b 「国家間の特殊関係及び特殊地域の研究資料」全7輯 真鍋藤治担当。第1輯「委任統治制度ノ研究（未定稿）」、第2輯「A式委任統治組織法（未定稿）」、第3輯「国際不可分関係 米国の部（未定稿）」、第4輯「英国ノ部（未定稿）」、第7輯「米英以外ノ部（未定稿）」の所在を確認できる。
- 南満洲鉄道株式会社臨時経済調査委員会
- 1928-30 「資料」全35編。
- 1930 『大連港中継貿易振興委員会報告書』（資料 第35編）。
- 南満洲鉄道株式会社産業部
- 1937a 「康德元年度北滿ニ於ケル農家経済収支表」満洲国財政部共編 産業部資料室高山博・中熊文明・産業部農林課平野蕃担当。
- 1937b 『満鉄調査機関要覧 昭和十一年度』（産業調査資料 第23編）。
- 1937c 『立案調査書類文献目録』（経済調査会立案調査書目録 第1巻）。
- 1938 『北支那経済綜観』日本評論社。第9版 1941年まで刊行。
- 南満洲鉄道株式会社産業部編
- 1937 『満洲経済年報（昭和十二年）』上・下 改造社。

南満洲鉄道株式会社産業部鉱業課

1938 「張台子炭田試錐第五次中間報告」.

南満洲鉄道株式会社産業部農林課編

1936 『移民地調査資料』第1輯（産業調査資料 第4編）.

1937 『移民地調査資料』第2輯 夏目清, 他（産業調査資料 第29編）.

南満洲鉄道株式会社産業部資料室

1937 「調査時報」(『満鉄資料彙報』第2巻第7号 1937年3月).

1938 「シベリア湿地に就て」E. E. Ahnert 著 大形孝平訳（産業調査資料 第39編）.

南満洲鉄道株式会社産業部庶務課業務係

1937 「昭和十二年度業務計画」大上末広執筆.

南満洲鉄道株式会社社長室調査課

1922a 『近代露支関係の研究（一）沿黒龍地方の部』宮崎正義執筆（調査報告書 第17巻）.

1922b 『満洲農家の生産と消費』野中時雄執筆（調査報告書 第13巻）. 1929年再版.

1922c 『露領沿海地方及北樺太』第1輯 小林九郎執筆（調査報告書 第12巻）.

1922-23 『滿蒙全書』全7巻 別冊1冊 満蒙文化協会. 第4巻以降は庶務部調査課刊.

南満洲鉄道株式会社上海事務所

1926-28 「中国共産党上海総工会資料」11冊. 中国共産党, 上海総工会の資料の翻訳.

1938a 「蕪湖宣撫班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和13（1938）年1月6日-3月の宣撫工作状況を記録.

1938b 「鎮江班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和12（1937）年12月26日-昭和13（1938）年2月の宣撫班記録.

1938c 「中支方面宣撫工作状況」軍宣撫班（上海事務所長報 昭和13年2月12日）.

1938d 「中支宣撫網構成要図」（上海事務所長報 昭和13年2月21日）.

1938e 「中支占領地域ニ於ケル難民ノ状況並物資ノ状況」軍宣撫班（上海事務所長報 昭和13年2月12日）.

1938f 「中支占領地区内復帰民並難民收容ニ関スル諸工作（満鉄派遣宣撫班報告抜粋）」（上海事務所長報 昭和13年2月21日）.

1938g 「中支占領地区内自治委員会設立事情（満鉄派遣宣撫班報告抄）」（上海事務所長報 昭和13年2月21日）.

1938h 「中支占領地区ニ於ケル宣撫工作概要 昭和十三年三月」（上海事務所長報 昭和13年3月16日）.

1938i 「嘉興宣撫班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和12（1937）年12月-昭和13（1938）年3月の宣撫工作状況を記録.

1938j 「嘉善宣撫班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和13（1938）年2-3月の宣撫工作状況を記録.

1938k 「満鉄派遣中支宣撫班工作状況報告 昭和十二年十二月」（上海事務所長報 昭和13年1月4日）満鉄派遣宣撫班・上海事務所.

1938l 「松江宣撫班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和12（1937）年12月10日-昭和13（1938）年3月の宣撫工作状況を記録.

1938m 「丹陽宣撫班記録」. 刊行年の記入なし. 昭和13（1938）年1月9日-4月の宣撫工作状況を記録.

1942a 「中国社会史論戦」南京駐在員中島邦蔵執筆（統一化政策調査叢書 第2号）.

1942b 「孫文ノ支那近代化構想」中島邦蔵執筆.



南満洲鉄道株式会社上海事務所調査部

1935 『支那ファッションの内幕』日森虎雄編。

南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室

1939a 『中支主要都市商品流通調査（蚌埠）』熊谷康・小野寺保他著（上海満鉄調査資料 第37編）。

1939b 『江蘇省常熟県農村実態調査報告書』岸本清三郎等執筆（上海満鉄調査資料 第34編）。

1939c 「無錫工業実態調査報告書（概要）」第七係山崎進担当。在南京中支派遣軍との第二回懇談会報告用。

1940a 『江蘇省松江県農村実態調査報告書』天野元之助等執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（上海満鉄調査資料 第48編）（満鉄調査研究資料 第31編）。

1940b 『江蘇省太倉県農村実態調査報告書』新居芳郎等執筆（上海満鉄調査資料 第35編）。

1940c 『上海特別市嘉定区農村実態調査報告書』井田三郎等執筆（上海満鉄調査資料 第33編）。

1941a 「中支インフレーションノ現状」。

1941b 「法幣インフレーションに関する調査」中島邦蔵担当。

1941c 『江蘇省無錫県農村実態調査報告書』内ヶ崎虔二郎等執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（上海満鉄調査資料 第50編）（満鉄調査研究資料 第37編）。

1941d 『江蘇省南通県農村実態調査報告書』村上捨己等執筆 南満洲鉄道株式会社調査部（上海満鉄調査資料 第51編）（満鉄調査研究資料 第38編）。

1941-43 「中支都市不動産慣行調査資料」全50輯。

1942 『南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室 資料分類目録 秘扱之部 第一輯（昭和十六年三月三十一日現在）』南満洲鉄道株式会社調査部。

南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室編

1939a 「宣撫工作概況 鎮江班 卷二」1939年8月。中支派遣軍特務部鎮江班の報告（昭和13年5月-14年4月）。

1939b 「宣撫工作概況（松江班 卷二）」1939年11月。中支派遣軍特務部松江班の報告（昭和13年5月-14年1月）。

1939c 「宣撫工作概況（太倉班 卷二）」1939年11月。中支派遣軍特務部太倉班の報告書（昭和13年6-7月）。

1940a 『無錫工業実態調査報告書』南満洲鉄道株式会社調査部（上海満鉄調査資料 第44編）（満鉄調査研究資料 第24編）。

1940b 「宣撫工作概況 嘉善班 卷二」1940年4月。中支派遣軍特務部嘉善班の報告（昭和13年5月-14年4月）。

1940c 「宣撫工作概況 杭州特務機関 卷二」1940年3月。中支派遣軍特務部杭州特務機関の報告（昭和13年12月-14年4月）。

1940d 「宣撫工作概況 丹陽班 卷二」1940年4月。中支派遣軍特務部丹陽班の報告（昭和13年5月-同14年1月分）。

1940e 「宣撫工作概況 揚州班 卷二」1940年4月。中支派遣軍特務部揚州班の報告（昭和13年5月-14年2月）。

南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第一班

1943 「全支農作物期別販売率表」新居芳郎担当。

南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第二係

1939-40 「中南支内水航行権ニ関スル資料」全8輯。

1939-41 「中南支外国權益都市別調査資料」全9輯。

- 1939-42 「中南行政機構調査資料」全15輯。
- 1940 「中国ニ於ケル基督教ノ布教権益（未定稿）」（布教権益調査資料 第1輯）。
- 1940-41 「中国法制調査資料」全5輯。
- 1941 「揚州ニ於ケル外国教会ノ現状」（布教権益調査資料 第2輯）。
- 1942 「清郷工作ニ於ケル行政機構ト其ノ運営」真鍋藤治・伊藤源藏執筆（中南行政機構調査資料 第15輯）。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第四係
- 1940-41 「支那抗戦力調査参考資料」4冊。
- 1941 「第二期清郷工作下の農村問題——江陰県踏査報告——」石川正義担当。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第五係
- 1941 「堰橋鎮事情」天野元之助・新居芳郎・原多計志担当。無錫綜合実態調査の一部。
- 1941-42 「『抗戦力調査』昭和十五・十六年度『抗戦力』商業篇」8冊。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第八係
- 1940 「日支両勢力交錯地帯（蚌埠）ノ経済事情——占拠地区ト敵地トノ物資交流——」熊谷康担当。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室第九係
- 1941 「円ブロックインフレーションノ一契機トシテノ中南支円系通貨圈ノ問題」全2冊。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室業務係
- 1942 「大東亜戦争カ奥地ニ与フル影響 第二部 工鉱業、農業、商業、金融」内田丈夫・浅川典生・熊谷康・加藤清担当。「無錫地区経済綜合実態調査報告」の一部。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室慣行調査班
- 1940 「昭和十五年度中支慣行調査業務計画要綱」。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所南京駐在員
- 1942 「統一化政策ニ於ケル交通部門ノ占ムル地位」上田宗次郎担当（統一化政策調査叢書 第3号）。
- 1943a 「交通部門ニ於ケル統一化政策ノ構想（上）」上田宗次郎担当（統一化政策調査叢書 第4号）。
- 1943b 「支那幣制改革ノ本質」中島邦蔵担当（統一化政策調査叢書 第5号）。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所南京支所
- 1942 「『統一化政策』ヲ廻ル諸見解」中島邦蔵担当（統一化政策調査叢書）。
- 南満洲鉄道株式会社上海事務所支那研究室
- 1932a 「支那研究機関及団体に関する調査」（『満鉄支那月誌』第9年第11/12号 1932年12月）。
- 1932b 「支那研究に関する調査について」（『満鉄支那月誌』第9年第11/12号 1932年12月）。
- 南満洲鉄道株式会社新京支社調査室
- 1940 「調査部ノ任務及組織ノ基本問題ニ関スル私見（第二部）」松岡瑞雄執筆。
- 1941 「満洲インフレーション調査報告（第一部総括並対策篇）」下條英男担当 南満洲鉄道株式会社調査部（日満支インフレーション調査報告）。野間、他編 [1982] に収録。
- 1942a 「第三委員会月報」第1号 1942年6月10日。
- 1942b 「東京に於ける満洲戦時経済調査中間報告概要」（『資料彙報』第1号 1942年4月）。野間、他編 [1982] に収録。
- 1942c 「満洲土着資本実態調査報告書＜統計篇＞」南満洲鉄道株式会社調査部（新京調査室資料 第11編）（満鉄調査研究資料 第61編）。

## 南満洲鉄道株式会社新京支社調査室編

- 1941 『北満農業機構再編成に関する基礎的研究』佐藤武夫執筆 南満洲鉄道株式会社調査部  
(新京調査室資料 第6編)(満鉄調査研究資料 第40編)。

## 南満洲鉄道株式会社新京支社調査室第一委員会

- 1942 「満洲ニ於ケル前期的資本、特ニ糧棧ノ特質ニ関スル調査(新京支社調査室第一委員会第一回中間報告覚書)」山内一男担当。

## 南満洲鉄道株式会社新京支社調査室第三係

- 1941 「大豆統制の北満農村に及ぼせる影響——克山県程家油房屯実態調査報告——」(『満鉄調査月報』第21巻第1号 1941年1月)。

## 南満洲鉄道株式会社新京支社調査室満洲経済研究会

- 1941 「満洲経済理解のための資料」(『満鉄資料彙報』第6巻第7号 1941年7月)。

## 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課

- 1921 『浦潮斯德商港』小林九郎執筆(調査報告書 第10巻)。  
 1922 『中華民国第十年史』太宰松三郎執筆(満鉄調査資料 第6編)。  
 1923a 『中華民国第十一年史』太宰松三郎執筆(満鉄調査資料 第15編)。  
 1923b 『大連港背後地の研究』野中時雄・菊田直次・宮本通治(調査報告書 第19巻)。  
 1924a 『事業会社に於ける調査機関の官能運用及組織』佐田弘次郎。  
 1924b 『満蒙より何を期待すべきか(各種資源より見たる満蒙)』野中時雄担当(パンフレット第8号)。  
 1924c 『満蒙より何を期待すべきか(満蒙資源要説)改訂増補』野中時雄。  
 1925a 『開墾と労力の需給より見たる大正二十三年に於ける満洲農産額』野中時雄(パンフレット 第16号)。  
 1925b 『満洲農家之生産與消費』野中時雄編 黄越川訳(漢訳調査資料 第8編)。  
 1927 『国共両党の提携より分裂まで』上海事務所 高久肇著(国民革命の現勢 其1)。  
 1928 『南満洲鉄道株式会社第二次十年史』。  
 1929 『吉会鉄道関係地方調査報告書 第二輯 東部満洲対策要論』小林九郎執筆(調査報告書 第31巻)。

## 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課編

- 1924-25 「露文翻訳労農露国調査資料」全36編。  
 1925-26 「労農露国研究叢書」全6編 大阪毎日新聞社。  
 1926-32 「露亜経済調査叢書」全91冊 大阪毎日新聞社・東京日日新聞社。1930年から総務部調査課編。

## 南満洲鉄道株式会社総務部調査課

- 1930 『所謂「紅軍問題」——ソウエート中国と赤軍——』太宰松三郎編(満鉄調査資料 第144編)。  
 1931 『満洲に於ける糧棧——華商穀物問屋の研究——』齊藤征生執筆(満鉄調査資料 第151編)。  
 1932 『満鉄会社経営自然科学研究所のなせる業績概観』(満鉄国際叢書 第2編)。  
 1932-33a 「満鉄国連調査記録」全4冊。  
 1932-33b 「満鉄国際叢書」全8冊。第8編は総務部資料課編。

## 南満洲鉄道株式会社総務部調査課太平洋問題調査会準備委員会

- 1930-31 Pamphlets, 全6冊。  
 1931a 『満鉄線運転妨害及関東州外付属地匪賊被害調査統計表』(パムフレット「和」第2号)。

1931b 「太平洋問題バムフレット」全13冊 大連 1931年.

南満洲鉄道株式会社総務部事務局調査課

1913a 『満洲旧慣調査報告書 後篇 第一巻 典ノ慣習』宮内季子.

1913b 『満洲旧慣調査報告書 後篇 第二巻 押の慣習』宮内季子.

1913-15 『満洲旧慣調査報告』全9冊.

1914 『満洲旧慣調査報告書 前篇ノ内 内務府官荘』天海謙三郎.

1915a 『堪察加州経済調査資料』森御蔭調査.

1915b 『関東州土地旧慣一斑』眇田熊右衛門・天海謙三郎・亀淵龍長.

1915c 『満洲旧慣調査報告書 後篇ノ内 租権』眇田熊右衛門.

1915d 『満洲旧慣調査報告書 前篇ノ内 皇産』天海謙三郎.

1917 『西伯利亚経済状態と日露貿易資料』森御蔭調査.

南満洲鉄道株式会社総務部資料課

1935 『北支事情綜覧』土井章・殿生文男・河野正直執筆(満鉄調査資料 第167編).

1936 『満鉄調査機関要覧 昭和十年度』(満鉄調査資料 第170編).

南満洲鉄道株式会社総務部資料課編

1934 『満洲事変と満鉄』. 原書房から全2冊で1964, 74年復刻.

南満洲鉄道株式会社総裁室文書課長

1939a 「調査関係職制二関スル説明資料」1939年3月6日(総文書38第2号1615号附属文書).

1939b 「満鉄調査機関拡充理由」1939年3月(総文書38第2号1615号). 野間, 他編 [1982] 所収.

南満洲鉄道株式会社総裁室人事課編

1938 『新入社員執務要覧 昭和十三年四月』. 龍溪書舎より1986年復刻.

南満洲鉄道株式会社総裁室弘報課編

1938 『南満洲鉄道株式会社三十年略史』.

1941 『満洲農業図誌』岡田定行・米山雄治編 非凡閣.

南満洲鉄道株式会社天津事務所調査課

1936a 『河北省農業調査報告(二) 平漢線「望都-石家荘」沿線及西部地帯』水野薫・千田英二執筆(北支経済資料 第26輯).

1936b 『北支那に於ける棉作地農村事情(河北省通県小街村)』水野薫執筆(北支経済資料 第13輯).

1936c 『山東の畜牛』水野薫・友清繁執筆(北支経済資料 第6輯).

1936d 『山東の棉作』水野薫・浜正雄執筆(北支経済資料 第8輯).

1936-37a 「北支経済資料」第1-39輯.

1936-37b 「北支経済提要」第1-5表.

1936-37c 「北支農村実態調査報告」全5冊.

1936-37d 「河北省農業調査報告」(北支経済資料)全4冊.

1936-37e 「天調資料」第9-50号.

南満洲鉄道株式会社天津事務所調査室

1938 「天津事務所調査室立案調査報告書並資料目録」.

南満洲鉄道株式会社鉄道部貨物課

1936 『混保十五年史』.

1938 『鉄鉄道統計年報 第1編 旅客・貨物・旅館 昭和12年度』.

## 南満洲鉄道株式会社鉄路総局哈爾濱鉄路局

1935 「北鉄接收記録」全11冊.

## 南満洲鉄道株式会社東亜経済調査局

1919a 『独逸製鉄業』石川鉄雄著（世界製鉄業 第2編）.

1919b 『概篇』石川鉄雄著（世界製鉄業 第1編）.

1919-22 「世界製鉄業」全8編.

1928a 『露和辞典』同人社.

1928b 『植民地鉄道の世界経済的及世界政策的研究乃至植民地鉄道の外的研究』（1）-（2）永尾策郎執筆 全2冊（経済資料 第4巻第4-5号）.

1933 『露和大辞典』白水社.『露和辞典』同人社 1928年の再版.

## 南満洲鉄道株式会社東京支社

1937 「満洲産業開発五箇年計画に関する件」1937年3月4日（南満洲鉄道株式会社調査部 [1937d] 所収）.

1940 「東亜ニ於ケル物資自給力調査 其四 北支ノ部」[南満洲鉄道株式会社東京支社?].

## 南満洲鉄道株式会社東京支社調査室

1941a 「新情勢ノ日本政治経済ニ及ホス影響調査」.

1941b 「世界情勢調査委員会報告」第1-3部 全12冊.第一部「総括篇」1冊,第二部「資料篇」3冊,第三部「資料篇 我カ南進政策ヲ繞ル各国ノ政治経済動向」.

## 南満洲鉄道株式会社東京支社満洲及朝鮮歴史地理調査部

1913a 『朝鮮歴史地理』津田左右吉 全2巻（歴史調査報告 第2）.

1913b 『満洲歴史地理』全2巻（歴史調査報告 第1）.

1914 『文禄慶長の役 正編第1』池内宏（歴史調査報告 第3）.

## 「南満洲鉄道株式会社篇」

1964 「南満洲鉄道株式会社篇」（満史会編 [1964] 上巻所収）.

## 三菱経済研究所

1943 『米国戦争経済力の基礎研究』.

## 三浦義臣

1923 「水産」（南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第3巻所収）.

## 三輪 武

1939 「機構拡充後に於ける上海事務所の活動」（『協和』第248号 1939年9月1日）.

1987 「満洲産業開発永年計画案と経済調査会」I-II（『アジア経済』第28巻第1, 3号 1987年1, 3月）. 本書収録.

1988 「経済調査会から調査部まで—調査の自主的企画と総合調査—」I-II（『アジア経済』第29巻第9-10号 1988年9-10月）. 本書収録.

## 「宮城与徳 予審判事訊問調書」

1942 「宮城与徳 予審判事訊問調書」（『ゾルゲ事件（三）』[現代史資料 3] みすず書房 1962年所収）.

## 宮本通治

1929-30 「支那の農村経済に関する一つの観察」1-3（『満鉄支那月誌』第6年第2-3号, 第7年第6号 1929年11-12月, 1930年6月）.

1930a 「最近支那における労働運動の発展傾向」（『満鉄支那月誌』第7年第5号 1930年5月）.

1930b 「支那における最近の赤色労働組合運動について—第五回全国労働大会を中心として—」（『満鉄支那月誌』第7年第2号 1930年2月）.

- 1930c 「支那農村社会の封建的性質について——支那農村経済に関する一つの観察 その3——」(『満鉄支那月誌』第7年第6号 1930年6月)。
- 宮本通治訳
- 1930a 「『アジアの生産方法』マジヤール」(『満鉄支那月誌』第7年第9号 1930年9月)。
- 1930b 「『支那農村経済の統計について』L. Madjar」(『満鉄支那月誌』第7年第11号 1930年11月)。
- 宮西義雄
- 1983 『満鉄調査部と尾崎秀実』亜紀書房。
- 1987 「満鉄調査部と尾崎秀実・中西功・日森虎雄」I-II(『アジア経済』第28巻第7-8号 1987年7-8月)。本書収録。
- 宮下 弘
- 1978 『特高の回想——ある時代の証言——』聞き手・伊藤隆・中村智子 田畑書店。
- 宮崎正義
- 1938 「日滿財政経済研究会業務報告書(自昭和十一年一月一日至十二年十二月三十一日)」日滿財政経済研究会 1938年1月(『日中戦争(一)』みすず書房 1964年[現代史資料 8]所収)。
- 溝口房雄
- 1941 「北支那農業ノ戦時経済再生産構造分析」(草稿)。
- 1985 「華北農業に関する満鉄の調査活動」(『アジア経済』第26巻第11号 1985年11月)。本書収録。
- 水野 薫
- 1941 『北支名物夜話』南満洲鉄道株式会社社員会(社員会叢書 第47輯)。
- 毛沢東
- 1927 「湖南農民運動考察報告」(『戦士』週報 第35/36期合刊, 第38-39期 1927年3-4月)。
- 1936 『中国革命戦争の戦略問題』1936年12月。
- 1938a 「抗日遊撃戦争の戦略問題」(『解放』第40期 1938年5月30日)。
- 1938b 「論持久戦」(『解放』第43・44期合併号 1938年7月)。
- 1942 「中国革命と共産党」日森虎雄訳 外務省情報局。
- 1982 「尋烏調査」(『毛沢東農村調査文集』北京 人民出版社 1982年所収)。
- 門馬 驍
- 1940 「満洲土着資本の企業的特質——合股組織の経済的考察を中心として——」(『満洲経済』第1巻第6号 1940年7月)。
- 1941 「戦時下農村土着資本の課題とその基調」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1941d] 所収)。
- 森 武夫
- 1932 『米国戦時計画経済論』浅野書店。
- 森久正信
- 1937 「満洲油房の将来性」(『満鉄調査月報』第17巻第1号 1937年1月)。
- 森川 清
- 1975 「満洲の石炭液化技術」(『石油学会誌』第18巻第5号 1975年5月)。
- 1981 「エネルギー資源とその利用 化学工業を開発する方法論——大連・日中経済協力セミナーにおける講演から——」(『化学経済』第28巻第2号 1981年2月)。
- 1988 「満鉄中央試験所と満洲の資源開発」(『アジア経済』第29巻第2号 1988年2月)。本書収録。

森川 清編

1979a 「満鉄中央試験所概略年表」(丸沢 [1979] 所収)。

1979b 「満鉄中央試験所研究工業化実績概略表」(丸沢 [1979] 所収)。

森川 清・萩原定司

1979 「対談 満鉄中央試験所と丸沢先生」(丸沢 [1979] 所収)。

守屋典郎

1944 「支那紡績業の労働能率」(『東亜研究所所報』第29号 1944年8月)。

藻谷小一郎

1980 『社会主義と民主主義』三一書房。

村上敏蔵

1940 「満鉄在職当時の想出」(満洲国国务院大陸科学院地質調査所 [1940a] 所収)。

村上捨己

1941 「山西省に於ける作物の編成に関する若干の考察」(『満鉄調査月報』第21巻第11号 1941年11月)。

村上知行

1937 「民族戦線か人民戦線か？」(『支那問題研究所所報』創刊号 1937年1月)。

「無錫各工業別工場一覧表」

1940 「無錫各工業別工場一覧表(其の二)」(南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室編 [1940a] 所収)。

「無錫工業概況表」

1940 「無錫工業概況表(民国二二-二三年現在)」(南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室編 [1940a] 所収)。

「無錫工場生活」

1940 「無錫工場生活——中国女工哀史——」(南満洲鉄道株式会社上海事務所調査室編 [1940a] 第9章「無錫工業労働者の状態」第4節)。Nym Wales(韋爾斯)著 胡仲持等訳『続西行漫記』中の無錫出身の婦人労働者劉羣先の談話の日本語訳。

武藤富男

1956 『満洲国の断面——甘粕正彦の生涯——』近代社。

Myers, Ramon H.

1970 *The Chinese Peasant Economy: Agricultural Development in Hopei and Shantung, 1890-1949.* Cambridge, Mass.: Harvard University Press.

1975 “Economic Organization and Cooperation in Modern China: Irrigation Management in Xingtai County, Ho-bei Province,” (故村松佑次教授追悼事業会編『中国の政治と経済』東洋経済新報社所収)。

## N

永尾龍造

1922a 「言語」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収)。

1922b 「年中行事」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収)。

永雄策郎

1930 『植民地鉄道の世界経済的及政策的研究』日本評論社。

長沢武夫

1980 「上海・南京の思い出」(上海満鉄回想録編集委員会編 [1980] 所収)。

名畑 恒

1969 「1930年代初頭の中国資本主義論争」(『東亜経済研究』第42巻第3/4号 1969年6月)。

内務省警保局保安課

1943 「中国共産党対日諜報団竝に之に関連する外患に関する罪及治安維持法違反事件の取調状況」(『特高月報』昭和18年10月分 1943年11月)。

中田信蔵

1934 「胸奥の情熱」(『石川鉄雄君の面影』[1934] 所収)。

中兼和津次

1980 「旧満州の農村および農業実態調査について」国立 一橋大学経済研究所梅村研究室。中兼 [1981] に補筆改稿して収録。

1981 「旧満洲農村社会経済構造の分析」アジア政経学会。

中島邦蔵

1987 「『中国社会史論戦』に関する調査」(『アジア経済』第28巻第4号 1987年4月)。本書収録。

中西 功

1935a 「満洲経済研究の現状(一)」(『満鉄調査月報』第15巻第7号 1935年7月)。

1935b 「満洲経済研究の深化——一九三五年版『満洲経済年報』を評す——」(『満鉄調査月報』第15巻第11号 1935年11月)。

1935c 「満洲都市産業の現状——満洲経済の現状(二)——」(『満鉄調査月報』第15巻第8号 1935年8月)。

1937a 「冀東地区農業経営の零細性——冀東地区農村実態調査新資料の総観(二)——」(『支那問題研究所所報』第7号 1937年7月)。

1937b 「冀東地区農村実態調査新資料の総観(一)——北支農村経済の一畝——」(『支那問題研究所所報』第6号 1937年6月)。

1938a 「北支の地主」上・下(『満洲評論』第14巻第12-13号 1938年3月26日、4月2日)。

1938b 「北支農業の特質——特に日本農業との比較に於て——」(『満鉄調査月報』第18巻第2号 1938年2月)。

1938c 「河北農村経済の概況」(1) - (2)(『満鉄調査月報』第18巻第1, 4号 1938年1, 4月)。

1938d 「日支事变下の北支農村問題」(『満洲評論』第14巻第3号 1938年1月22日)。

1938e 「日支事变の第二段階と国民政府」(『満洲評論』第14巻第1号 1938年1月1日)。

1971 「死の壁の中から——妻への手紙——」岩波書店(岩波新書)。

1974 「中国革命の嵐の中で」青木書店。

1979 「尾崎秀実論」(尾崎秀樹編『回想の尾崎秀実』勁草書房所収)。

鳴海四郎(尾崎庄太郎)

1937 「支那『統一化』を巡る諸問題」(『支那問題研究所所報』第6号 1937年6月)。

梨本裕平

1969 「中国のなかの日本人」同成社。

名和統一

1941 「支那に於ける紡績業と棉花——支那に於ける工業と農業との連繋に関する一個の研究——」(日本学術振興会第二及第十四特別委員会『東亜経済研究』(1)有斐閣所収)。



## 根岸 信

1932 『支那ギルドの研究』 斯文書院.

1951 『上海のギルド』 日本評論社.

## 日満財政経済研究会

1936a 「満洲ニ於ケル軍需工業ノ建設及増産計画」(日満財政経済研究会「昭和十二年度以降五年間帝国歳入及歳出計画 附緊急実施国策大綱」別紙第一<日本近代史料研究会[1970]第1巻所収>).

1936b 「満洲ニ於ケル軍需産業建設拡充計画(第一次中間報告)」抜粋 1936年9月3日(日本近代史料研究会[1970]第1巻所収).

1936c 「昭和十二年度以降五年間帝国歳入及歳出計画 附緊急実施国策大綱」(日本近代史料研究会[1970]第1巻所収).

## 日本近代史料研究会

1970 「日満財政経済研究会資料——泉山三六氏旧蔵——」全3巻.

## 『日本鉱業会誌』

1899 「製鉄所原料購買の契約」(『日本鉱業会誌』第15巻第171号 1899年5月).

1981 「鞍山鉄鋼公司の現況」(『日本鉱業会誌』第97巻第1107号 1981年9月).

## 『日本社会運動人名辞典』

1979 『日本社会運動人名辞典』 青木書店.

## 『日本資本主義発達史講座』

1932-33 『日本資本主義発達史講座』全7巻 岩波書店.

## 新居芳郎

1980 「ライラックの咲く頃」(上海満鉄回想録編集委員会[1980]所収).

1985 「『中支』農村調査余話」(『アジア経済』第26巻第12号 1985年12月). 本書収録.

## 新帯国太郎

1940 「北満に於ける石油探索の思出」(満洲国国务院大陸科学院地質調査所[1940a]所収).

## 任曙編

1931a 『中国経済研究緒論』 上海 東明書店.

1931b 『中国経済研究緒論』 上海 神州国光社.

## 西 義顕

1962 「悲劇の証人——日華和平工作秘史——」 文献社 私家版.

## 西島三郎(熊谷 康)

1939-41 「戦時下の中支郷鎮雑話」など(『評論』第4巻第9号-第5巻第5号 1933年9月-40年5月, 『東亜経済月報』第6巻第5-6号 1941年5-6月).

## 西本克三

1980 「日森虎雄と私」(『日中友好新聞』1980年7月20日).

## 西村祭喜

1972 「遺稿・西村祭喜自伝」 西村充 私家版.

## 西村成雄

1984 『中国近代東北地域史研究』 京都 法律文化社.

## 西里竜夫

1977 『革命の上海で——ある日本人共産党員の記録——』 日中出版.

## 野田勢次郎

1917 「福建江西湖南湖北安徽浙江六省」(東京地学協会『支那地学調査報告(自明治四十四年至大正五年)』第1巻所収).

野原四郎

- 1979 「尾崎秀実と西安事変」(『尾崎秀実著作集』第5巻 勁草書房所収)。  
1982 「日本の東洋史学は何をしてきたか——十五年戦争にかかわって——」(野原四郎『歴史への視点』研文出版所収)。

野間 清

- 1970 「支那抗戦力調査について——中西功との対話からの覚書——」1970年7月14日。  
1973 「『支那抗戦力調査』についての具島兼三郎教授の談話覚書」(具島兼三郎教授校閲)。  
1973年10月28日福岡市での対談記録。  
1975 「満鉄経済調査会の設立とその役割——満鉄調査回想——」(『愛知大学国際問題研究所紀要』第56号 1975年1月)。  
1976 「『満洲』農村実態調査の企画と業績——満鉄調査回想の二——」(『愛知大学国際問題研究所紀要』第58号 1976年2月)。  
1977 「中国慣行調査、その主観的意図と客観的現実」(『愛知大学国際問題研究所紀要』第60号 1977年2月)。  
1985 「『満洲』農村実態調査遺聞」I-II(『アジア経済』第26巻第4-5号 1985年4-5月)。本書収録。  
1986 「『中国慣行調査、その主観的意図と客観的現実』補遺覚書」(野間・福島[1986]所収)。本書収録。  
1989 「調査部総合課」I-II(『アジア経済』第30巻第8-9号 1989年8-9月)。本書収録。

野間 清編

- 1940 「双城県に於ける農民からの聴取調査覚書」(『満鉄調査月報』第20巻第1号 1940年1月)。

野間 清・福島正夫

- 1986 「中国農村慣行調査」I-II(『アジア経済』第27巻第4、6号 1986年4、6月)。本書収録。

野間 清・山本純恵

- 1937 「海城県に於ける農村行政組織と其の運営現態」(一) - (二)(『満鉄調査月報』第17巻第3-4号 1937年3-4月)。

野間 清、他編

- 1982 『満鉄調査部 総合調査報告集』野間清・三輪武・宮西義雄・下條英男編 亜紀書房。

野村進一郎(鈴江言一)

- 1931 「三民主義と儒家の政治思想」(『満鉄支那月誌』第8年第1号 1931年1月)。

野中時雄

- 1922 「気象」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課[1922-23]第1巻所収)。  
1923 「畜産」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課[1922-23]第3巻所収)。  
1924 「労農露国視察報告」(講演)(『調査時報』第4巻第3号 1924年3月)。  
1958 「私の満鉄での調査の跡」(『兵庫農科大学 農業経済』第3号 1958年)。

野中時雄・竹内虎治

- 1923 「農業」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課[1922-23]第3巻所収)。

野々村一雄

- 1941a 「哈爾浜市史抄」(『満鉄資料彙報』第6巻第6-7号 1941年6-7月)。  
1941b 「満洲土着資本調査への若干の問題提起」(『満鉄資料彙報』第6巻第10号 1941年10月)。  
1986 『回想 満鉄調査部』勁草書房。

納富重雄

- 1943 『大陸資源行脚』月刊満洲社東京出版部。

## NS クラブ編

1987 『東京帝大新入会員の足跡』 創造書房。

沼 鏡治 (野間 清)

1936 「蒙古人部落を訪ねて」上 - 下 (『満洲評論』第10巻第14, 16号 1936年4月4, 18日)。

## O

王勵志 (中西 功)

1939 「孫文主義の基本的問題——その特質と中心的課題——」(『満鉄調査月報』第19巻第8号 1939年8月)。

王子言 (鈴江言一)

1927 「支那における近代的労働運動の経過と其現状」1-3 (『北京満鉄月報』第3年第6号 - 第4年第2号 1927年1-6月)。

小尾俊人

1962 「『ゾルゲ事件』資料の編集のあとに——落穂ひろ的に——」(『現代史資料月報』1962年12月 [『ゾルゲ事件 (三)』[現代史資料 3] みすず書房] 付録)。

オブラズツォフ, ヴェ・エヌ

1940 「ソ聯邦の交通史観」真鍋重忠訳編 (『満鉄調査月報』第20巻第6号 1940年6月)。

大上末広

1932 「支那国民経済序説——主として官僚資本を中心として——」(上) - (下) (『経済論叢』第34巻第5-6号 1932年5-6月)。

1933 「満洲統制経済の動向」(『満洲評論』第4巻第20号 1933年5月20日)。

1935a 「近代に於ける満洲農業社会の変革過程」(『満洲史研究』[『歴史学研究』第5巻第2号 1935年12月])。

1935b 「満洲農業恐慌の現段階」(南満洲鉄道株式会社経済調査会編 [1935] 第2部第2章)。

1935c 「鈴木小兵衛氏著『満洲の農業機構』に就いて」(『満洲評論』第8巻第17号 1935年4月27日)。

1936 「編輯者後記」(橘 [1936c] 所収)。

1937a 「北支那農村の社会的構造」(『農業と経済』第4巻第10号 1937年10月)。

1937b 「支那資本主義と南京政府の統一化政策——一つの試論——」上-5 (『満洲評論』第12巻第12-15, 17号 1937年3月27日-5月21日)。

1937c 「初冬雑感」(『満洲評論』第13巻第24号 1937年12月11日)。

1938a 「満洲統制経済の動向」(『満洲評論』第4巻第20号 1938年5月20日)。

1938b 「支那農業政策管見」(1) - (4) (『満洲評論』第14巻第16-17, 19-20号 1938年4月23日 - 5月21日)。

1939 「農業及農民問題」(山口高等商業学校東亜経済研究所編『支那経済年報 (昭和十四年)』改訂社所収)。

1940 「満洲国農業開発計画の基本問題」上 - 下 (『満洲経済』第1巻第3-4号 1940年4-5月)。

1941a 「満洲国農業生産政策の吟味」(『東亜人文学報』第1巻第1号 1941年3月)。

1941b 「満洲農業経済の発展と特質」上 - 下 (『満洲経済』第2巻第3-4号 1941年3-4月)。

1941c 「支那の農業問題」(『季刊東亜政治と東亜経済』第1号 1941年7月)。

小笠原泰治 (佐藤大四郎)

1940 「満洲合作運動小史」(浜江省興農合作社連合会『満洲農村合作運動論叢』上所収)。

小倉音二郎

1980 「終戦前後」(上海満鉄回想録編集委員会 [1980] 所収)。

小倉 勉

1952 「満洲国地質調査所沿革」(東亜地質鉱産誌編輯委員会 [1952] 所収)。

岡崎次郎

1983 『マルクスに凭れて六十年——自嘲生涯記——』青土社。

奥村慎次

1922a 「国際関係」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第2巻所収)。

1922b 「満蒙之歴史」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収)。

1922c 「財政」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第2巻所収)。

1923 「移民及植民 日本人労働者」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第6巻所収)。

大蔵省管理局

[n.d.] 『日本人の海外活動に関する歴史的調査』通巻第23冊 「満洲編」第2分冊。刊行年の記入なし。ソウル 高麗書林から1985年復刻。

大村達夫(中西 功)

1937a 「支那問題の所在」(『支那問題研究所所報』第4号 1937年4月)。

1937b 「支那社会の基礎的範疇と『統一』化との交渉——支那統一化をめぐる諸見解を中心として——」(『満鉄調査月報』第17巻第8号 1937年8月)。

小野梧成

1917 「北京シンジケート」(『支那研究資料』第1巻第3号 1917年6月)。

小野一一郎・松野周治

1977 「大上末広の略歴と著作目録について」(『経済論叢』第119巻第3号 1977年3月)。

大野

1937 「満洲農村雑話」1-3(『満洲評論』第13巻第2-5号 1937年7月10日-31日)。

大野 保

1940 「講座 満洲農村の農家構成」(1) - (5)(『興農』創刊号-第2巻第5号 1940年11月-41年5月)。

1941 「満洲農業問題の方向」(『満洲評論』第21巻第25号 1941年12月20日)。

大塚令三

1929 「書評陶希聖『中国社会与中国革命』」(『満鉄支那月誌』第6年第3号 1929年11月)。

1940 『支那共産党史』上 生活社。

1950 「解題」(橘 [1950] 所収)。

尾崎五郎(尾崎庄太郎)

1937a 「綿紡織業を通じて見た支那民族工業の現段階的特質」(『満鉄調査月報』第17巻第9号 1937年9月)。

1937b 「歴史的転換過程にある支那の経済」(1) - (2)(『満鉄調査月報』第17巻第11-12号 1937年11-12月)。

尾崎久市

1938 「満鉄貨物運賃引下の意義」(『協和』第224号 1938年9月1日)。

1988 「満鉄の貨物運賃政策」(『アジア経済』第29巻第5号 1988年5月)。本書収録。

尾崎秀実

1936a 「最近の段階に於ける日支関係」(尾崎秀実『嵐に立つ支那——転換期支那の外交・政治・経済——』亜里書店 1937年所収)。1936年ヨセミテで開催された第6回太平洋会議提出の

*Recent Development in Sino-Japanese Relations* の日本文、『尾崎秀実著作集』第1巻 勁草書房 1977年に収録。

- 1936b 「支那に於ける国際関係の新局面」(尾崎秀実『嵐に立つ支那——轉換期支那の外交・政治・経済——』亜里書店 1937年所収)。原載は『新評論』1936年12月、『尾崎秀実著作集』第1巻 勁草書房 1977年に収録。
- 1937a 「学良クーデターの意義」(尾崎秀実『嵐に立つ支那——轉換期支那の外交政治・経済——』亜里書店 1937年所収)。原載は『中央公論』第52年第1号 1937年1月、『尾崎秀実著作集』第1巻 勁草書房 1977年に収録。
- 1937b 「時局と対支認識」(尾崎秀実『現代支那批判』中央公論社 1938年所収)。原載は『改造』第19巻第10号 1937年10月、『尾崎秀実著作集』第2巻 勁草書房 1977年に収録。
- 1937c 「西安事件以後の新情勢」(尾崎秀実『嵐に立つ支那——轉換期支那の外交・政治・経済——』亜里書店 1937年所収)。原載は『社会及国家』1937年2月号、『尾崎秀実著作集』第1巻 1977年に収録。
- 1937d 「支那の産業開発と国際資本」(尾崎秀実『嵐に立つ支那——轉換期支那の外交・政治・経済——』亜里書店 1937年所収)。原載は『自由通商』第10巻第5号 1937年5月、『尾崎秀実著作集』第1巻 勁草書房 1977年に収録。
- 1941 「支那抗戦力調査委員会『昭和一四年度総括資料』に就いて」(『満鉄資料彙報』第6巻第4号 1941年4月号)。
- 1994 『開戦前夜の近衛内閣——満鉄「東京時事資料月報」の尾崎秀実政治情勢報告——』今井清一編著 青木書店。
- 「尾崎秀実 検事訊問調書」
- 1942 「尾崎秀実 検事訊問調書」第20-28回(1942年3月5日-5月8日)(『ゾルゲ事件(二)』みすず書房 1962年[現代史資料 2]所収)。
- 「尾崎秀実 司法警察官訊問調書」
- 1941-42 「尾崎秀実 司法警察官訊問調書」第1-19回(1941年10月15日-1942年3月11日)(『ゾルゲ事件(二)』みすず書房 1962年[現代史資料 2]所収)。
- 「尾崎秀実 予審判事訊問調書」
- 1942 「尾崎秀実 予審判事訊問調書」第1-28回(1942年6月16日-11月27日)(『ゾルゲ事件(二)』みすず書房 1962年[現代史資料 2]所収)。
- 尾崎庄太郎
- 1937a 「救国運動と封建軍閥の行方」(『支那問題研究所所報』第7号 1937年7月)。
- 1937b 「支那は戦争を如何に準備したか——事変発展の必然性について——」(『支那問題研究所所報』第9号 1937年9月)。
- 1981 『徘徊——中国研究家の回想——』日中出版。
- 1984 「戦前・戦中の『支那問題研究所』とその協力者のいくつかの活動内容」(『近きに在りて——近現代中国をめぐる討論のひろば——』第6号 1984年11月)。
- 1986 「戦時下の中国農村視察ならびに調査活動を回顧して」(『アジア経済』第28巻第1号 1986年1月)。本書収録。

## R

李景漢編

- 1933 『定県社会概況調査』北平 中華平民教育促進会。

李立三

1930 「中国革命的根本問題」(『布維塞維克』第3巻第2/3期, 4/5期 1930年3, 5月)。

李四光 (Lee, J. S.)

1939 *The Geology of China*. London: Thomas Murby.

Richthofen, Ferdinand von

1877 *China: Ergebnisse eigener Reisen und daraufgegründeter Studien*, 5vols. Berlin: D. Reimer.

1942 『支那 (I) — 支那と中央アジア —』望月勝海・佐藤晴生訳 岩波書店 (東亜研究叢書 第14巻)。Richthofen [1877] 第1編の訳。

1943 『支那 (V) — 西南支那 —』能登志雄訳 岩波書店 (東亜研究叢書 第18巻)。Richthofen [1877] 第3巻第1篇の訳。

「リヒアルト・ゾルゲの手記」

1942 「リヒアルト・ゾルゲの手記」(2) (『ゾルゲ事件 (一)』みすず書房 1962年 [現代史資料 1] 所収)。

陸澄

1917 「漢口、茶市調査報告」(『支那研究資料』第1年第6号 1917年9月)。

陸軍省軍務局

1935 「林陸軍大臣より松岡満鉄新総裁に対する懇談要旨」(1) - (2) 1935年5月 (『日中戦争 (一)』みすず書房 1964年 [現代史資料 8] 所収)。

1936 「川島陸軍大臣の松岡満鉄総裁との対談要項案」1936年1月 (『日中戦争 (一)』みすず書房 1964年 [現代史資料 8] 所収)。

「臨時経済調査委員会」

1938 「臨時経済調査委員会」(南満洲鉄道株式会社 [1938b] 第2編第7章第3節)。

## S

Сафаров

1939 『支那社会史』早川二郎訳 白揚社。

齊藤征生

1937 「経済概勢」(南満洲鉄道株式会社産業部資料室『満洲経済年報 (昭和十二年版・上)』改造社 第1編)。

榊谷仙次郎

1969 「榊谷仙次郎日記」榊谷仙次郎日記刊行会 私家版。

坂本峻雄

1925 「撫順油頁岩の成因 (予報)」(『支那鉱業時報』第65号 1925年10月)。

阪谷芳直・鈴木 正編

1970 『中江丑吉の人間像 — 兆民を継ぐもの —』名古屋 風媒社。

札幌市教育委員会編

1981 『遠友夜学校』札幌 北海道新聞社 (サッポロ文庫 18号)。

佐瀬六郎

1937 「中満農村に於ける国内市場発展の一考察 — 満鉄背後地としての吉林省伊通県調査報告書 —」(『満鉄調査月報』第17巻第1号 1937年1月)。

佐田弘次郎

1930 『時局救済国本確立共済富籤国営論』大連 中日文化協会。

- 1937 『富籤論』改造社。
- 佐藤大四郎
- 1938 『満洲に於ける農村協同組合運動の建設——農事合作社の発展のために——』大連 満洲評論社。
- 1941 「満洲農業研究の促進を！」(『満洲評論』第21巻第11号 1941年9月13日)。
- 1980 『満洲に於ける農村協同組合運動の建設』龍溪書舎。
- 佐藤晴生
- 1940 「哈爾浜図書館亜細亜文庫所蔵 支那関係露文文献の若干について」(『満鉄資料彙報』第5巻第6号 1940年6月)。
- 佐藤 洋
- 1941 「満洲農業に関する若干の文献について (一)」(『満鉄資料彙報』第6巻第1号 1941年1月)。
- 佐藤正典
- 1940 「満鉄中央試験所の業績を顧みて」(『科学』昭和15年第14号 1940年)。
- 1971 「一科学者の回想」私家版。
- 佐藤武夫
- 1938 「満洲の都市近郊地帯に於ける蔬菜栽培事情 (一)」(『満鉄調査月報』第18巻第10号 1938年10月)。
- 1941a 「北満農業機構再編成に関する研究」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1941d] 所収)。
- 1941b 「北満農業における経営機構の再編成——北満農業機構再編成に関する基礎的研究——」(『満鉄調査月報』第21巻第3号 1941年3月)。
- 1941c 「北満農業における小作関係の再編成——北満農業機構に関する基礎的研究——」(『満鉄調査月報』第21巻第2号 1941年2月)。
- 1941d 「清末以後に於ける土地運動の若干の事例」(『満鉄調査月報』第21巻第6号 1941年6月)。
- 1941e 「スレッシャーと北満農業」(『満鉄調査月報』第21巻第1号 1941年1月)。
- 1942 『満洲農業再編成の研究』生活社。
- 佐藤健雄
- 1987 「満鉄のソ連調査」(『アジア経済』第28巻第9号 1987年9月)。本書収録。
- 佐藤貞次郎
- 1922 「行政」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第2巻所収)。
- Schlesinger, Rudolf
- 1967 “Il Comintern e la Questione Coloniale,” *Annali* [Istituto Giangiacomo Feltrinelli], anno 9, 1967. 要約は Agosti, Aldo, *La Terza Internazionale: Storia Documentaria*. Roma: Editori Riuniti, vol. 2, p. 604. (アルド・アゴスティ著『コミンテルン史』石堂清倫訳 現代史研究所 1987年 373ページ)。
- Schram, Stuart
- 1967 『毛沢東』石川忠雄・平松茂雄訳 紀伊国屋書店(二十世紀の大政治家 6)。原書名: *Mao Tse-tung*. Penguin Books, 1966。
- 「清苑県農家経済調査」
- 1936-37 「清苑県農家経済調査」(『社会科学雑誌』第7-8巻 1936-37年)。
- 薛暮橋
- 1938a 『戦時鄉村工作』漢口 新知書店。
- 1938b 『戦時鄉村問題』漢口 新知書店。

薛暮橋・馮和法編

1983 『〈中国農村〉論文選』全2巻 北京 人民出版社.

薛雨林・劉端生

1934 「広西農村経済調査」(『中国農村』創刊号 1934年10月).

上海満鉄回想録編集委員会

1980 『長江の流れと共に——上海満鉄回想録——』.

上海自然科学研究所

1932 「上海自然科学研究所の成立と現況」(「特集『支那研究』」[『満鉄支那月誌』第9年第11/12号 1932年12月]).

柴 三九男

1934 「清代の土地所有関係——満洲土地経済史よりの考察——」(『歴史学研究』第2巻第6号 1934年10月).

島田孝一

1933 『交通賃率の研究』泰文堂.

島貫重節

1979 『福島安正と単騎シベリヤ横断』上・下 原書房.

清水盛光

1936 「旧支那に於けるギルドの勢力」(『満鉄調査月報』第16巻第9号 1936年9月).

1937a 「旧支那に於ける専制権力の基礎」(『満鉄調査月報』第17巻第2号 1937年2月).

1937b 「旧支那に於ける村落の自治」(『満鉄調査月報』第17巻第6, 12号 1937年6, 12月).

1938 「旧支那に於ける家族構造の特質」(『満鉄調査月報』第18巻第5号 1938年5月).

1940-41 「支那家族の諸構造」(前篇上) - (後篇4) (『満鉄調査月報』第20巻第8号 - 第21巻第7号 1940年8月 - 1941年7月).

1942 『支那家族の構造』岩波書店.

支那駐屯軍司令部

1936 「冀東農村合作社組織大綱案」. 南満洲鉄道株式会社調査部 [1937a] に収録.

支那駐屯軍司令部乙嘱託班

1937 「北支・産業調査書類」全80冊.

支那駐屯軍司令部乙嘱託総務班

1937a 『乙嘱託班調査概要』(支那駐屯軍司令部乙嘱託班 [1937] 第1編第1巻).

1937b 「支那駐屯軍司令部乙嘱託班人員総括表」(支那駐屯軍司令部乙嘱託総務班 [1937a] 所収).

「支那慣行調査方針並調査項目案」

1939 「支那慣行調査方針並調査項目案」(「満鉄案」[東亜研究所第六調査委員会 1939年11月] [参考別綴 第1号] 所収).

「支那慣行調査計画案」

1939 「支那慣行調査計画案」(「満鉄案」[東亜研究所第六調査委員会 1939年11月] [参考別綴 第1号] 所収).

「支那鉱業時報」

1912 「時事彙報」(『支那鉱業時報』第15号 1912年3月).

支那問題研究所 (天津)

1938 『支那経済年報 (昭和十三年)』尾崎庄太郎執筆.

白井行幸

1938 「支那に於ける経済復興運動」(南満洲鉄道株式会社産業部編 [1937] 上 第3編第8章).



## 資料四高学生運動史刊行会編

1976 『資料・第四高等学校学生運動史』総合図書.

## 「職制改正に依る産業部の新設」

1936 「職制改正に依る産業部の新設」(『満鉄資料彙報』第1巻第5号 1936年11月).

## 「昭和十四年十二月満鉄調査部決裁『支那慣行調査』ニ関スル件」

1939 「昭和十四年十二月満鉄調査部決裁『支那慣行調査』ニ関スル件」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第6巻所収).

## 昭和製鋼所

1940 『昭和製鋼所廿年史』鞍山.

## 昭和製鋼所庶務課

1935 『昭和製鋼所綱要』鞍山.

## 周仏海

1939 『三民主義解説』上 犬養健訳編 岩波書店(岩波新書).

## 朱其華

1931-32 「中国におけるブルジョア・イデオロギーの史的展開」(1) - (6) 天野元之助訳(『満鉄支那月誌』第8年第8号 - 第9年第1号 1931年8月 - 32年1月).

1932a 「中国経済の現状と将来」(一) - (五) 山口慎一訳(『満鉄調査月報』第12巻第8-12号 1932年8-12月).

1932b 「中国民主主義運動」上 - 下(『満洲評論』第2巻第22-23号 1932年6月4, 11日).

1932c 「一九二五〜二七年中国大革命中における農民運動」(上) - (下) Y・K生訳(『満鉄支那月誌』第9年第1-2 / 3 / 4号 1932年1, 4月).

1932d 「上海文化界の現状」上 - 下(『満洲評論』第3巻第4-5号 1932年7月23, 30日).

1932e 「上海事変と陳独秀主義」(『満洲評論』第2巻第16号 1932年4月23日).

## 守随 一

1941a 「土着資本と資金動員」(南満洲鉄道株式会社調査部 [1941d] 所収).

1941b 「統制下糧食資本の構成」(『興農』第2巻第4号 1941年4月).

## Smith, Arthur Henderson

1892 *Chinese Characteristics*. London: K. Paul.

1899 *Village Life in China*. Edinburgh: Oliphant, Anderson and Ferrier.

1940 『支那の性格』白神徹訳 中央公論社. Smith [1892] の訳.

1941 『支那の村落生活』塩谷安夫・仙波泰雄訳 生活社. Smith [1899] の訳.

## Sorokin, P. A.; C. C. Zimmerman

1929 *Principles of Rural-Urban Sociology*. New York: H. Holt.

## 須田禎一

1971 「“上海の” 奇傑ジャーナリスト日森虎雄」(『潮』第137号 1971年10月).

## 「末弘博士の調査方針」

1940 「末弘博士の調査方針」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収).

## 末弘巖太郎

1939 「調査事項準備私案」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第6巻所収)

1940a 「調査方針等に関する覚書」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収). 東亜研究所第六調査委員会学術部委員会編 [1940] に収録.

1940b 「調査の根本方針に関する覚書」. タイプ謄写. 末弘巖太郎の作成した討議用メモ.

1941 「調査研究と臆測」(「末弘博士の調査方針」[中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻所収).

『支那慣行調査彙報』1941年12月掲載。

- 1943 「法律と慣習—日本法理探究の方法に関する一考察—」(『末弘博士の調査方針』[中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第1巻] 所収)。原載は『法律時報』第15巻第11号 1943年11月。
- 末弘巖太郎・田中耕太郎編
- 1934-37 『法律学辞典』全5巻 岩波書店。
- 杉本一郎
- 1937 「北滿に於ける農業経営規模と勞力並奮力の關係」(『滿鉄調査月報』第17巻第6号 1937年6月)。
- 杉本吉五郎
- 1923 「法制(総論、憲法、民法、商法、刑法)」(南滿洲鐵道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第6巻 所収)。
- 杉之原舜一
- 1958 「中国農村慣行調査についての覚書」(中国農村慣行調査刊行会編 [1952-58] 第6巻 所収)。
- 鈴江言一
- 1926 「広東の新外交—対香港講和に対する陳友仁氏の宣言とその意義—」(『北京滿鉄月報』第3年第5号 1926年10月)。
- 鈴江言一・伊藤武雄・加藤惟孝編
- 1964 『中江丑吉書簡集』みすず書房。
- 鈴木小兵衛
- 1933a 「最近に於ける國際情勢」(『日本資本主義發達史講座』[1932-33] [第3部 帝國主義日本の現状 改訂版] 所収)。
- 1933b 「最近の植民地政策・民族運動」(『日本資本主義發達史講座』[1932-33] [第3部 帝國主義日本の現状 改訂版] 所収)。
- 1935a 「中部滿洲に於ける農民分化—資料より見たる滿洲各地の農民分化 其の二—」(『滿鉄調査月報』第15巻第10号 1935年10月)。
- 1935b 「一資料より見たる滿洲各地の農民分化(其の一)—南部滿洲各地部落に於ける農民分化—」(『滿鉄調査月報』第15巻第9号 1935年9月)。
- 1935c 『滿洲の農業機構』白揚社。
- 1938 「北滿洲に於ける土地配分」上・中・完(『滿鉄調査月報』第18巻第1-3号 1938年1-3月)。
- 1939 「調査業務計画を規定する諸要因」(『滿鉄調査彙報』第2巻第12号 1939年12月)。
- 1941 「滿洲の農民問題」(『季刊東亞政治と東亞經濟』第1号 1941年7月)。
- 鈴木茂三郎
- 1929 「支那資本主義革命の現段階」(『中央公論』第44年8月号 1929年8月)。
- 鈴木丈夫
- 1968 「征旅」(バレンパンの石油部隊刊行会「バレンパンの石油部隊」第1巻)。
- 鈴木辰雄
- 1964 「滿洲国農村実態調査について 東京大学社会科学研究所研究会での談話」(野間清「『滿洲』農村実態調査遺聞」(II)(『アジア經濟』第26巻第5号 1985年5月)。本書収録。

## T

## 橋 樸

- 1934 「満洲事変と私の方向転換」(『満洲評論』第7巻第6号 1934年8月11日). 『橋樸著作集 第2巻 大陸政策批判』勁草書房 1966年に収録.
- 1936a 「北支那郷村自治建設に関する私案」(『満洲評論』第11巻第11号 1936年9月12日).
- 1936b 「満洲郷村自治建設に関する私案」(『満洲評論』第11巻第12号 1936年9月19日).
- 1936c 『支那社会研究』日本評論社.
- 1936d 『支那思想研究』日本評論社.
- 1950 『中国革命史論』大塚令三編 日本評論社.

## 『橋樸著作集 第3巻』

- 1966 『橋樸著作集 第3巻 アジア・日本への道』勁草書房.

## 『橋樸の人と生涯— 解題にかえて—』

- 1966 「橋樸の人と生涯— 解題にかえて—」(座談会)(『橋樸著作集 第1巻 中国研究』勁草書房所収).

## 田所耕耘

- 1934 「病める蛟龍」(『石川鉄雄君の面影』[1934] 所収).

## 戴国輝

- 1972 「中国“社会史論戦”紹介にみられる若干の問題— 紹介と研究の間—」(『アジア経済』第13巻第1号 1972年1月).

## 「耐火粘土・マグネサイト・硝子原料」

- 1964 「耐火粘土・マグネサイト・硝子原料」(満史会編 [1964] 下巻「鉱業篇」第11章).

## 「大陸政策十年の検討」(座談会)

- 1941 「大陸政策十年の検討」(座談会)(『満洲評論』第21巻第17号 1941年10月25日). 『橋樸著作集 第3巻』[1966] に収録. 出席者: 尾崎秀実・鈴木小兵衛・橋樸・平貞蔵・土井章・細川嘉六.

## 台湾総督府臨時台湾旧慣調査会第一部

- 1905-15 『清国行政法(臨時台湾旧慣調査会第一部報告)』全7冊.

## 高田爾郎

- 1962 「尾崎秀実と日森虎雄」(『現代史資料月報』1962年10月 [『ゾルゲ事件(二)』みすず書房 1962年(現代史資料 2) 付録]).

## 高田元三郎

- 1967 「河上清」(高田元三郎『記者の手帳から』時事通信社所収).

## 高橋秀雄

- 1928 『鉄道運賃論』鉄道研究社.

## 高橋公館(天津)

- 1937a 「山東省鄒平実験県に於ける郷村建設運動」(資料 第2号).
- 1937b 「定県牛村の概況 平教会指導の模範村」(資料 第3号).
- 1937c 「定県農村合作社ニ関スル調査報告」(資料 第1号).

## 高橋輝正

- 1938 「北満糧棧機能の変革— 主として哈爾濱糧棧について—」(『満洲評論』第15巻第17号 1938年10月22日).

高久 肇

- 1923a 「度量衡」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第5巻所収).  
1923b 「貨幣及金融」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第5巻所収).  
1923c 「鉱業」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第4巻所収).

竹内虎治

- 1923 「交通」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第5巻所収).

竹内 好

- 1969 "Okawa Shumei," Profile of Asian Minded Man X, *Developing Economies*, vol.7, no. 3, Sept. 1969.  
1970 「大川周明のアジア研究」アジア経済研究所(所内資料 調査研究部No. 44-23). 竹内好  
『日本と中国の間』文芸春秋 1973年に収録.

瀧川政次郎・真鍋藤治

- 1940 「法令面に現れた重慶政府の現状を語る」(『満洲経済』第1巻第8号 1940年9月).

玉木英夫(尾崎庄太郎)

- 1936 「中国農村社会経済の現段階並にその研究方法論上の論争を見る」1-3(『経済評論』第3巻第4-6号 1936年4-6月).  
1937a 「中国民族銀行資本の特質に関する一試論」(『経済評論』第4巻第7号 1937年7月).  
1937b 「中国の『統一化』をめぐる諸見解について」(『経済評論』第4巻第8号 1937年8月).

田中武夫

- 1975 『橘樸と佐藤大四郎——合作社事件・佐藤大四郎の生涯——』龍溪書舎.

田中義英

- 1957 『農村実態調査の理論と実際』富民社.

田中幸利

- 1971 「“怪”男子(交遊抄)」(『日本経済新聞』1971年5月26日).

陶希聖

- 1928 「中国社会到底是什麼社会？」(『新生命』第1巻第10期 1928年10月).  
1929 「中国社会之史的分析」上海 新生命書局.  
1930 「中国社会の封建性」嘉村満雄訳(『満鉄支那月誌』第7年第6号 1930年6月).

湯惠蓀・杜修昌

- 1936 「中国農家経済之記帳的研究」(中華民国実業部中央農業実験所『研究報告』第1巻第12号 1936年12月).  
1941 『支那農家経済の記帳に関する研究』上海 中支建設資料整備事務所(編訳彙報 第69編). 湯・杜 [1936] の訳.

東亜地質鉱産誌編輯委員会

- 1952 『東亜地質鉱産誌』全3巻 東京地学協会.

「東亜経済調査局合併ニ関スル大川周明氏トノ打合要旨」

- 1938 「東亜経済調査局合併ニ関スル大川周明氏トノ打合要旨」調査部次長宮本通治・参与中  
島宗一 昭和13年12月3日付.

東亜研究所

- 1940 「事変前後を通じて見たる山西省特に臨汾に関する報告——満鉄北支農村実態調査臨汾  
班参加報告 第一部——」山本秀夫執筆.

東亜研究所第三部

- 1938 「支那慣行調査計画大綱案」1938年12月12日.

東亜研究所第五調査委員会

- 1941 「支那稲作の技術水準」山田盛太郎執筆。『東亜研究所所報』第11号 1941年8月にも掲載。南満洲鉄道株式会社調査部綜合課でも謄写印刷された。

東亜研究所第六調査委員会

- 1941a 「治外法権に関する慣行調査報告書」牛場信彦・大沢長俊執筆。  
1941b 「東亜研究所第六調査委員会学術部委員会各部慣行調査研究進行状況、業績並ニ将来ノ予定計画表」。  
1942 「支那に於ける外国行政地域の慣行調査報告書」植田捷雄執筆。  
1943 「商事に関する慣行調査報告書 合股の研究」根岸信執筆。

東亜研究所第六調査委員会学術部委員会編

- 1940 「満洲北中支農村視察状況 昭和十五年八・九月 附録・調査方針等に関する覚書（末弘巖太郎）」。

東亜研究所第六調査委員会特別調査部第四部

- 1941 「支那慣行調査項目——都市不動産慣行調査項目——」。

東亜研究叢書刊行会

- 1941-45 「東亜研究叢書」全14冊。

東畑精一

- 1938 『農村問題の諸相』岩波書店。  
1941 『日本農業の課題』岩波書店。  
1960 「創刊の辞」（『アジア経済』創刊号 1960年5月）。

「東大打合会議（第二回）」

- 1939 「東大打合会議（第二回）」（南満洲鉄道株式会社調査部綜合課 [1939b] 所収）。

東北地方文献聯合目録編輯組編

- 1981-84 「東北地方文献聯合目録」全4冊 出版地の記入なし。第1輯：報刊部分 1981年，第2輯：外文（日，西，俄図書部分）上・下 2冊 1984年，第3輯：東北抗日聯軍及東北抗日武装闘争資料索引 刊行年の記入なし。

東北日僑善後連絡総処・東北工業会

- 1947 「蘇聯軍進駐期間内ニ於ケル東北産業施設被害調査書」1947年2月（「張公権文書」Reel 10-30）。

「東研打合会議」

- 1939 「東研打合会議」（南満洲鉄道株式会社調査部綜合課 [1939b] 所収）。

「東研予備打合会議」

- 1939 「東研予備打合会議」（南満洲鉄道株式会社調査部綜合課 [1939b] 所収）。

「東京地裁判決文」

- 1943 「東京地裁判決文 [尾崎秀実]」（1943年9月29日）（『ソルゲ事件（二）』みすず書房 1962年 [現代史資料 2] 所収）。

東京大学東洋文化研究所図書室

- 1982 『我妻栄先生旧蔵 アジア法制関係文献資料目録』。

角田房子

- 1975 『甘粕大尉』中央公論社。

角田 順編

- 1971 『石原莞爾資料——国防論策篇—— [増補版]』原書房。

都留一雄

- 1934 “On a Titano-magnetite Deposit near Cheng Te, Je Ho Prov. Manchuria,” (『旅順工科大学紀要  
井上記念論文』集所収)。  
1936 「紅窖（七家子鉄鉱）調査報告」(『満洲国防資源調査』[南満洲鉄道株式会社経済調査会 [1935-  
36c 第1編第1巻] 所収)。

鶴見祐輔編輯

- 1937-38 『後藤新平』全4巻 後藤新平伝記編纂会。

## U

于光遠・柴樹蕃

- 1979 『綏徳・米脂土地問題初步研究』北京 人民出版社。

内ヶ崎虔次郎

- 1939 「事变下の北支農業の諸問題」(南満洲鉄道株式会社調査部編 [1939a] 第3部第1章)。

宇田 尚

- 1939 『対支文化工作草案』改造社。

植村静栄

- 1979 「権花一朝の夢（一満鉄社員の手記）中国の鉄道の現状」植村静栄刊行後援会 私家版。

梅根常三郎

- 1925 「鞍山製鉄所貧鉱処理に就いて」(『鉄と鋼』第11年第6号 1925年6月)。

「運動の内容」

- 1944 「運動の内容」(関東憲兵隊司令部 [1944] 第1編第7章)。

海野磯雄

- 1943 「農村の年中行事——部落日記・三月——（農村駐在調査報告 二）」(『満鉄調査月報』第23  
巻第12号 1943年12月)。

## W

和田喜一郎・横地誉富

- 1937 「錦州省錦県に於ける農村行政組織と其の運営現態」(『満鉄調査月報』第17巻第3号 1937  
年3月)。

和田耕作

- 1964 『私の昭和史』新世紀出版社。

我妻 栄

- 1933 『中華国民民法 債権総則』中華民国法制研究会。

Wagner, Wilhelm

- 1926 *Die Chinesische Landwirtschaft*. Berlin : D. Parey.  
1940-42 『中国農書』上・下 高山洋吉訳 天野元之助校閲 全2冊 生活社（東亜研究叢書  
第8巻）。Wagner [1926] の訳。1972年刀江書院から復刻。

Willis, Bailey ; Eliot Blackwelder, et al.

- 1907-13 *Research in China, 1903-04*. Washington, DC : Carnegie Institution of Washington, 3v.  
1944 『支那地史の研究』坂本峻雄訳 岩波書店（東亜研究叢書 第11巻）。Willis; Blackwelder,  
et al. [1907-13] の訳。

Willoughby, C. A. 著

- 1953 『赤色スパイ団の全貌——ゾルゲ事件——』福田太郎訳 東西南北社.

Wittfogel, K.A.

- 1931 *Wirtschaft und Gesellschaft Chinas*. Leipzig: C. L. Hirschfeld.  
 1933 『解体過程にある支那の経済と社会』全2巻 太田守道・森谷克己・横川次郎訳 平野義太郎監訳 中央公論社. Wittfogel [1931] の訳.  
 1935a 『支那経済発展の基礎と段階』東亜経済調査局 (東亜小冊 第17).  
 1935b 『支那経済史研究』横川次郎訳 叢文閣.  
 1939a 『支那社会の科学的研究』平野義太郎・宇佐美誠次郎訳 岩波書店 (岩波新書).  
 1939b 『東洋的社会の理論』森谷克己・平野義太郎編 日本評論社.

## Y

矢部 茂

- 1934 「アラスカ及北米合衆国に於ける砂金採取法調査報告」(『地質調査所報告』第81号 1934年9月).

八木奘三郎

- 1922 「現代満蒙之諸民族」(南満洲鉄道株式会社社長室調査課 [1922-23] 第1巻所収).

山田豪一

- 1977 『満鉄調査部——栄光と挫折の四十年——』日本経済新聞社 (日経新書 279).

「山田博士招待ニ依ル懇談会」

- 1939 「山田博士招待ニ依ル懇談会」(南満洲鉄道株式会社調査部総合課 [1939b] 所収).

山田盛太郎

- 1934 『日本資本主義分析』岩波書店.  
 1940 「山田盛太郎氏稿『支那ニ於ケル農業生産ノ規模, 概要篇』ノ為ノ論議点要領」発行者の記入なし.

山口博一

- 1970 「関東憲兵隊司令部編『在満日系共産主義運動』」(書評) (『アジア経済』第11巻第8号 1970年8月).  
 1988 「『満鉄調査部事件』(1942-45年)について」(『アジア経済』第29巻第11号 1988年11月). 本書収録.

山本秀夫

- 1971 「『支那研究資料』」(『アジア経済資料月報』第13巻第4, 6号 1971年4, 6月).  
 1977 『橋樑』中央公論社 (中公叢書).  
 1980 「『北支那郷村自治建設に関する私案』の成立過程」(橋樑を考える会『楠』第6号 1980年12月).

山本秀夫編

- 1981 『甦る橋樑』龍溪書舎.

山本秀夫編著

- 1972 「『月刊支那研究』」(「中国雑誌解題特集」[『アジア経済資料月報』1972年臨時増刊 1972年3月]).  
 1982 「『満洲評論』解題・総目次」不二出版.

山本秀夫・上村鎮威

- 1941 「山西省臨汾県一農村の基本的諸關係——滿鉄北支農村実態調査臨汾班参加報告 第二部——」(『東亜研究所報』第9-10号 1941年4, 6月)。

山本純愚

- 1936 「蒙地に於ける鋤青の一例に就いて——興安南省科爾沁左翼後旗腰四不全——」(『滿鉄調査月報』第16巻第6号 1936年6月)。
- 1986 「野間清, 福島正夫氏の『中国農村慣行調査』報告を読んで」(野間・福島 [1986] 所収。本書収録)。

山本達弘

- 1943 「平遥土布の生産形態」上・下 (『滿鉄調査月報』第23巻第1-2号 1943年1-2月)。

山下 肇

- 1925 「南満洲ニ於ケル農村ノ研究」(『盛岡高農同窓会學術彙報』第3巻)。

山内一男

- 1941 「封建的土地制度の解体過程について——ドイツに於けるその特質——」(『滿鉄資料彙報』第6巻第8-9号 1941年8-9月)。

山崎元幹

- 1934 「交渉部時代の石川君」(『石川鉄雄君の面影』[1934] 所収)。
- 1973 「歴代総裁のことども」(滿鉄会編 [1973] 所収)。
- 1986 「松岡洋右総裁の就任と満洲重工業会社の設立」(山崎・田村 [1986] 所収)。

山崎元幹・田村羊三

- 1986 『思い出の満鉄』龍溪書舎。

山崎 進

- 1986 「無錫工業実態調査」(『アジア経済』第27巻第2号 1986年2月)。本書収録。

矢内原忠雄

- 1937 「支那問題の所在」(『中央公論』第52年第2号 1937年2月)。

安盛松之助

- 1923 「工業」(南満洲鉄道株式会社庶務部調査課 [1922-23] 第4巻所収)。

矢沢康裕

- 1960 「労農運動と中国社会論」(野原四郎他編『講座 近代アジア思想史I 中国篇I』弘文堂所収)。

余子道・劉其奎・曹振威

- 1985 『汪精衛国民政府“清郷”運動』上海 上海人民出版社。

楊国楨

- 1981 「試論清代閩北民間的土地探索——清代閩北探索文書剖析——」(『中国史研究』1981年第1期 1981年3月)。

横川次郎

- 1942 「調査論断想」(『滿鉄資料彙報』第7巻第2号 1942年2月)。

米谷栄一

- 1943 『滿支貿易と共栄圈貿易』南満洲鉄道株式会社総裁室弘報課編 中央公論社(東亜新書23)。

吉田渚一

- 1974 「一九三〇年代中国農村経済研究の一整理」(『東洋史研究』第33巻第2号 1974年9月)。

吉田於菟男

- 1957 「群雄割拠時代の支那浪人」(『特集文芸春秋 涼風読本』1957年8月)。



吉川忠雄

- 1938 「北満農村労働事情——双城県大白家窩堡に於ける——」(『満鉄調査月報』第18巻第10号 1938年10月)。

Yoshimura, Yoshiko

- 1994 “The Washington Document Center (WDC) and the WDC Collection in the Japanese Section,” in *Censored Japanese Serials of the Pre-1946 Period: A Checklist of the Microfilm Collection*, comp. Yoshiko Yoshimura. Washington, D. C.: U. S. Library of Congress. 井村哲郎編『米国議会図書館所蔵 戦前期アジア関係日本語逐次刊行物目録』アジア経済研究所 1995年に収録。

Young, John

- 1966 *The Research Activities of the South Manchurian Railway Company, 1907-45: A History and Bibliography*. New York: East Asian Institute, Columbia University.

熊得山

- 1929 「支那の土地制度」嘉村満雄訳(『満鉄支那月誌』第6年第2号 1929年11月)。  
1930 「中国農民運動の史的研究」嘉村満雄・小松重雄訳(『満鉄支那月誌』第7年第2号 1930年2月)。

## 逐次刊行物の部

『部報』

南満洲鉄道株式会社調査部綜合課刊行。昭和16(1941)年8月『満鉄調査部報』を改題。「部報編輯要領」(第16号[1942年9月])によると、活版、概ね月刊。「調査部運営に関する基本方針、調査業務の企画・組織・連絡等の部務運用上の効率を高むるに有益なる所論並主要調査の定期的経過報告乃至解説、部内外関係調査機関の活動状況、部を繞る重要情勢及連絡事項等を掲載す」とされている。

*The China Year Book* ロンドン、上海等 1912年創刊。1939年までの刊行が確認できる。中国事情を英文で紹介した数少ない年鑑。

『地質調査所報告』

南満洲鉄道株式会社地質調査所刊行。『支那鉱業時報』を改題して、昭和11(1936)年第87号から昭和13(1938)年3月第92号まで刊行された。地質調査所の満洲国移管に伴い、第93号(1938年8月)から満洲国国务院大陸科学院地質調査所で刊行。康德7(1940)年12月『満洲帝国地質調査所彙報』と改題され、康德11(1944)年9月第109号まで刊行。

『調査』

康德8(1941)年創刊の満洲調査機関聯合会の機関誌。満洲国総務庁統計処共編。第3巻第4号 康德10(1943)年6月までの刊行が確認できる。満洲国における調査活動を見るには重要な雑誌である。

『調査時報』

大正8(1919)年12月創刊、昭和5(1930)年2月第11号から『満蒙事情』と解題。南満洲鉄道株式会社社長室調査課、庶務部調査課刊行の雑誌。

『中国資料月報』

昭和9(1934)年11月創刊。第3巻第2号(1936年5月)までの刊行が確認できる。中国共産党、国民党関係の資料の翻訳、情報を掲載した。発行者高柳虎雄は日森虎雄の戸籍名であると考えられる。

*Contemporary Japan; A Review of Far Eastern Affairs* 1932年日本外事協会から創刊された日本事情紹介誌。

*Contemporary Manchuria: A Bi-monthly Review of Manchuria*

南満洲鉄道株式会社刊の英文弘報誌。昭和12(1937)年創刊。第3巻第1号(1939年1月)から季刊となった。第4巻第2号 1940

年4月まで刊行が確認できる。

『月刊支那研究』 大正13(1924)年創刊、大正14(1925)年9月第10号まで、大連の支那研究会で刊行。中国社会の学術的研究と中国社会紹介を行なった。橋樸主筆。龍溪書舎から復刻。

『編訳彙報』 南京・上海 中支建設資料整備委員会刊行。汪兆銘政権の「経済建設工作の根幹たるべき基礎資料の供給」を目的に、国民政府の経済建設に関する資料を翻訳掲載した。昭和14(1939)年12月創刊。第65編から上海 中支建設資料整備事務所、1943年から在上海日本大使館編。

『編訳簡報』 上海 中支建設資料整備事務所刊行。第1年第1号(1941年6月15日)から第2年第4号(1942年3月)までの所在が確認できる。中国側雑誌論文の翻訳を主に掲載した。

『日森研究所資料』 上海 日森研究所編、仮謄写、四六倍版。昭和14(1939)-昭和16(1941)年に発行された114冊分の刊行が確認できる。

『上情』 南満洲鉄道株式会社上海事務所編の情報冊子。ほとんどは所在が確認できない。

『経済資料』 南満洲鉄道株式会社東亜経済調査局が大正4(1915)年3月に創刊した月刊誌。通巻第176(1931年8月)から不定期刊の叢書となった。

*Manchuria Daily News* 大正元(1911)年創刊の日刊英字紙。大連の英字新聞社マンチュリア・デイリー・ニュース社刊行。発行部数は1000部。

*Manchuria Year Book* 東亜経済調査局が1931年版から34年版まで刊行した英文年鑑。1934年版は *Manchoukuo Yearbook*。

『満蒙』 『満蒙之文化』を大正12(1923)年4月改題。大連 満蒙文化協会発行。

『満蒙事情』 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課刊行の雑誌。昭和5(1930)年2月『調査時報』を改題し、第101号(1930年2月)-第109号(1931年8月)まで刊行。昭和6(1931)年9月『満鉄調査月報』と再改題された。

『満蒙之文化』 大正9(1920)年創刊。大連 満蒙文化協会発行。第4年第33冊(1923年4月)から『満蒙』と改題。

『満洲評論』 橋樸を編集総責任者に小山貞知、野田蘭蔵、大塚令三などを中心に、昭和6(1931)年に創刊され、昭和20(1945)年敗戦の直前まで刊行されて、満洲政治経済社会の分析を行なった週刊誌。昭和8(1933)年以降南満洲鉄道株式会社の調査組織の調査員多数が執筆している。山本秀夫編著[1982]参照。

『満洲経済年報』 昭和8(1933)年南満洲鉄道株式会社経済調査会編で改造社から発刊され、満洲産業開発永年計画立案作業のために発行されなかった昭和11(1936)年版を除いて、昭和十四年版まで発行された。編者は一九三三年版-一九三五年版は経済調査会、昭和十二年版は産業部資料室、昭和十三年版-昭和十四年版は調査部資料課と変遷している。いずれも改造社刊。

『満洲経済研究年報』 昭和16(1941)年『満洲経済年報』を引き継いで改造社が発行。『満洲経済年報』が満洲経済を総合的に分析しているのにたいして、論文集の形式をとっている。

『満洲経済統計月報』 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課から大正13(1924)年5月分から刊行。その後総務部調査課、経済調査会、産業部資料室、調査部資料課によって刊行された。第16巻第12号(1940年2月)までの刊行が確認できる。

『満洲農産物収穫高予想』 満鉄庶務部調査課は野中時雄の発案によって「支那側各行政公署、商会及農会、糧棧、並に当社地方機関より資料を得て」大正12(1923)年6月から満洲における作柄調査を行ない、各県別に主要作物の予想収穫高を算出した。これが『東三省農産物収穫高予想』大正13年度-昭和6年度(1924-1931年)21冊である。『満洲農産物収穫高予想』はこれを改題して、昭和7(1932)年から南満洲鉄道株式会社経済調査会が刊

- 行。昭和12(1937)年は産業部、昭和13(1938)年-昭和15(1940)年は鉄道総局附業月刊。昭和15(1940)年は『満洲農産物収穫高予想調査書』。
- 『満鉄調査部報』 南満洲鉄道株式会社調査部綜合課から昭和15(1940)年5月『満鉄調査彙報』を改題して創刊された。昭和16(1941)年8月『部報』と改題。調査部の調査方針、調査課題、会議録などを掲載。
- 『満鉄調査月報』 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課が刊行した雑誌。『満鉄調査時報』として創刊。『満蒙事情』を第11巻第9号(1931年9月)から改題。第24巻第2号(1944年2月)で終刊。編者は庶務部調査課、経済調査会、総務部資料課、産業部資料室、調査部資料課と変遷している。東洋史研究論文目録編輯委員会編『日本における東洋史論文目録』第3分冊 日本学術振興会 1966年に総目次が収録されている。
- 『満鉄調査彙報』 昭和13(1938)年から昭和14(1939)年にかけて南満洲鉄道株式会社調査部資料課によって刊行された雑誌。調査指針、調査時報、会議報、調査事項、部門別調査事項からなる。
- 『満鉄資料彙報』 南満洲鉄道株式会社の各調査機関の資料面での連絡を目的として昭和11(1936)年6月に南満洲鉄道株式会社総務部資料課の編纂によって創刊。第7巻第3号(1942年3月)まで刊行された。編者は、産業部資料室、調査部資料課と変遷している。各種目録、調査論などを掲載しており、経済調査会末期以降における満鉄資料業務を見るさいには重要な雑誌である。『満鉄資料彙報』を継承して『資料彙報』が昭和17(1942)年4月から刊行された。『満鉄資料彙報』は、会社全体の資料活動を中心とする総合機関誌であり、また資料活動と調査活動を媒介するとして、「(イ)資料活動に関する諸論説、(ロ)資料又は文献の体系的なる解説・紹介、(ハ)社内外刊行物の紹介並びに批判、(ニ)支那研究機関の組織・業績等の紹介等」を掲載するとされた。
- 『農家経済調査』 南満洲鉄道株式会社地方部農務課編。昭和7-11年度(1935-38年)。昭和10年度は産業部編、昭和11年度は調査部編。
- 『農家経済調査』 第3-11輯(1936-38年)。南満洲鉄道株式会社経済調査会編。第4輯から産業部編。
- 『北京満鉄月報』 大正13(1924)年5月南満洲鉄道株式会社北京公所研究室において伊藤武雄を編集人として発刊され、昭和4(1929)年11月北京公所から上海事務所に研究室が移ったのにもなつて、発行所も南満洲鉄道株式会社上海事務所支那研究室に移して『満鉄支那月誌』と改題された。その後昭和12(1937)年4月からは『上海満鉄季刊』と改題されたが、同年10月第3号で廃刊。中国の農村事情、農村調査、社会運動、農民運動を紹介した。小島麗逸「『北京満鉄月報』(『満鉄支那月誌』『上海満鉄季刊』)」「『アジア経済資料月報』1972年臨時増刊「中国雑誌解題特集」1972年3月)参照。
- 『支那経済年報』 南満洲鉄道株式会社調査部編 改造社刊で昭和十五年版、昭和十六年版を刊行。
- 『支那研究資料』 大正6(1917)年創刊、第2年第3輯 大正7(1918)年8月まで刊行。北京の支那研究会編集。主幹田原天南、主筆橘江南(橘樸)で、「民国行政紀要」、政府公報などの翻訳紹介を行なった中国研究のための資料集。龍溪書舎から復刻。山本秀夫「『支那研究資料』」(『アジア経済資料月報』第13巻第4、6号 1971年4、6月)参照。
- 『支那商品叢書』 全20輯 上海 南満洲鉄道株式会社上海事務所 1938年-41年。第4輯からは上海事務所調査室編。内容は、豚毛、アンチモニー及びタングステン、腸(豚、羊、牛)、禽毛、錫、麻・生皮(水牛、黄牛、山羊)、卵及び卵製品、胡麻、米—無錫米市場を中心として—、茶 其の1徽州茶、茶実及び茶油、漆、葉煙草、米—安徽の米—、米—上海米市場調査—、羊毛、小麦及び小麦粉、棉実及び綿実油、菜種及び菜種油を刊行。
- 『清国鉱業時報』 明治42(1909)年3月に南満洲鉄道株式会社から創刊された。明治45(1912)年第14

号まで刊行された。以降『支那鉱業時報』（南満洲鉄道株式会社地質調査所刊行）と改題されて昭和11（1936）年第86号まで継続し、以降『地質調査所報告』と改題。

【新天地】 大正10（1921）年6月大連で創刊された同人誌的な雑誌。満鉄の中堅職員多数が寄稿している。発行人は創刊から終刊まで中村芳法。上村哲弥は創刊から大正14（1925）年まで、石川鉄雄は大正15（1926）年から昭和3（1928）年までの編集長であった。新天地社には、顧問に金子雪斎、大蔵公望、誌友には満鉄社員多数がいた。平野健一郎 [1972] 参照。

【資料彙報】 『満鉄資料彙報』を継承する雑誌として、極秘、調査部内限り配布で昭和17（1942）年4月から刊行。第11号（1943年5月）までの刊行が確認できる。

「総合情報」 昭和6（1931）年から昭和12（1937）年までの分のうちの一部分が、また「総合資料」は昭和5（1930）年、昭和6（1931）年分の一部分が現存している。南満洲鉄道株式会社調査課情報係、同資料係、総務部調査課長、同資料課長、総裁室弘報課長など満鉄本社の情報担当組織によって各地からの情報を取りまとめて編纂され、社内関係部局に配布された。

【ソウェート聯邦事情】 昭和5（1930）年5月南満洲鉄道株式会社総務部調査課から創刊。以降継続して経済調査会、産業部資料室、調査部、調査局から刊行され、第15巻第10号（1944年12月）まで所在が確認できる。満鉄のソ連研究雑誌。

【鉄道統計年報】 南満洲鉄道株式会社鉄道部、鉄路総局、鉄道総局で編纂された。旅客・貨物・旅館、運転、工務、工作、港湾、自動車、附業、事故などについて編纂された。

「東調調査」 南満洲鉄道株式会社東京支社調査室編纂の調査資料。不定期刊。昭和15（1940）年分の数冊が現存している。

「東調時資」 南満洲鉄道株式会社東京支社調査室編纂の時事資料。不定期刊。昭和15（1940）年 - 昭和16（1941）年分の一部分が現存している。

【統計年報】 南満洲鉄道株式会社編。明治40年度 - 昭和14年度 全28冊。なお昭和14年度版は昭和17（1942）年に刊行されており、昭和15年度以降は刊行されなかった模様。龍溪書舎復刻。

「東京時事資料月報」 南満洲鉄道株式会社東京支社調査室において昭和14（1939）年8月から昭和16（1941）年9月まで刊行された情報誌。日本国内の政治経済情勢を分析したもので、尾崎秀実を中心に伊藤律なども執筆。第8、9、11、-14、16-21、23-25号（1940年3月 - 41年8月）の所在が確認できる。今井清一 [1987]、今井清一編 [1987]、尾崎秀実 [1994] 参照。

【東三省農産物収穫高予想】 南満洲鉄道株式会社庶務部調査課、哈爾浜事務所調査課共編 1924-31年。南満洲鉄道株式会社経済調査会『満洲農産物収穫高予想』に改題。